## 包圍攻撃し來れる凡そ二個旅の敵に對して猛烈な空爆を敢行した 劉〇機より成る一隊は浦東の敵砲兵陣地の空爆を行ひ夫々敵に多大の損害を與へた 我空軍再度爆撃す 我飛行機更に空爆 樹浦、引翔郷の上空に現はれ昨夜來同地區に集結我が公大彷工場方面 ある市政府方面上空に出頭、公大部隊前方の敵陣地に對して再度爆撃 华を派翔、戦回爆弾を投下し多大の損害を興へて歸還した 【上海十八日同盟至急報】我が海軍航空隊〇機は午前十一 【上海十八日同盟】我が海軍航空隊の〇〇機は十八日午前八時四十分揚 上海十八日同盟〕我が○曖は今朝龍華飛行場及び淞滬警備司令部の上

【七事十八日同盟】 郷州川県第四一郷になってある、後等に熱郷底の |・ックの品郷はすつみり用田され、『熊寺県に左衛」た郷艦、郷上郷師を五六人で原を組み自成。てしまい、『江都原常島でも観々員坂同郡県、郷町駅に左南した郷艦、郷三郎郷を五六人で原を組み自成。てしまい、『江都原常島でも観々員坂田東の『十ックの品郷はすつみり用田され た支那細民横行 支那機十二臺

・租界の食糧品缺乏

と判明した。

**そない史那細度に限かる意となり。上海の生命とも云ふべき黄浦江の。」ルも次第に議追し一遊旅館でもろうる爆撃に関し至らして破壊を発れ、三名も同楽してをり上西三者の上** 

**魔像な蜘蛛である。た支那般緊張上二級は上五日末期。はアメリカ最高限の栄養に至る警** 

【関東十七日同盟】 歴東支那軍墓 前マニラ出転上海に向け急行した

廣東省に逃避。一冊の監察がな時報して十七日年

ニラ駐甲の陸前隊は一名及び陸艦

**阪東省八庚飛行器に逃避、既に第** 

工部局警官撤退後

芝し住むに家なく現金の様台也「8零不軍職な事化が吹々用で楽る」に上じなくなった各國経費のホテ「弱への情勢によれば、我が果敢な「同船には

「食糧」り、既はトラワクの米俵を獲得了一党の鉄芝は著しく十四日以來金膳

【東京電告】十七月上海尚本總領 我兵警備

上海急行 北支戦線から「上記長辛店に大支戦線から「上記長辛店に ニラ十七日同盟】アメリカ汽 一個部及無林著の配立に落下して依 事より外務省への小電によれば、 上部局は正午頃支那側の配罪が場

尾、松岡兩從軍寫眞班員撮影)

មម្ចាស់ក្នុងក្រុមប្រជាជាក្រុមប្រជាជ្ញាច្រើនប្រជាជាក្រុមប្រជាធិប្បាយម្ចាស់ក្រុមប្រជាជាក្រុមប្រជាជាក្រុមប្រជាជាក ប្រជាជាក្រុមប្រជាជាក្រុមប្រជាជាក្រុមប្រជាជាក្រុមប្រជាជាក្រុមប្រជាជាក្រុមប្រជាជាក្រុមប្រជាជាក្រុមប្រជាជាក្រុមប្

リークを渡り我が北部郵味に来し

を移動しつくあり、午朗山時頃、敵は市政府附近に盛んに兵力

敵の追撃砲弾飛来しつくありもたほ時々陸戦隊胎立の戦線にもなほ時々陸戦隊胎立の戦線に一、開北方面の敵の砲火北默せる

个安に戦く廣東 排日の激流全支に溢る 避難支那人は廿數萬

取行した選果は底が在留釈人の全| 軍艦の張騰を受け交は悪門町台よ| 軍の商気派外艦艦により市内は大阪市七日同盟1 全面的部日を一斉帯に到着した、同略は途中支渉| 夏一行は十五日本敦回に亘るわ露 は殿氏隊に前引されたとのことで一番港に安着した、監修に落着いた ※によると歴史にあるが人使用支」を整へたま、単後を整成しながら「大日午後継載一間を宮殿に指数、近を感じてをり、斉港に達した情』養戒、事例の我が〇〇も腹関戦機「て事務業行不可能となったので十二十二十二十二 中は臨留事以下協設十二名は財産 り階層を受けるだれがあり、 揚げる家定である 日高参事官等

は引揚げに今さらの如く極度の不

同選を吞んで午後四時外交部出立く翻つてゐた大日鞏解を引下し一 の封田別車に乗込み、恵兵五十名 佛政府引揚を訓令

への意向

んとやるべし

する不思言者を

人能の個器によれば香港へ歌画

廣東在留邦人 香港に到着す

徹野 混風に陥り、危険が身邊にも迫つ

に融られて販霊族る軍浦線を北上の航路を停止せる洛陽地、田陽丸 南陽方、霧陽丸、長陽丸及び廣東 江沿岸居留民引揚げ完了後同方面

)被害甚大

或所は緊急五相愈素終了後、地中

権發動も聲明 地中海の自衛

明十一時十五時副官説の形式を以 「東京電話」 海軍省では十八日午 海軍副官談を發表

○機は歴天候を育して海寧飛行・十七日○○海軍航空部隊の○ 四、我が航空部隊及び随声隊の事が使一機は消息不明となった。本空襲中我

【東京電話】 駐日ドイツ大使フォー

英は聲明を發す

外相と協議 ドイツ大使

第、六十九節の三ヶ節の入唇を ・ おける支那軍の被害あ大たる ・ たかける支那軍の被害あ大たる ・ たかける支那軍の被害あ大たる ・ における支那軍の被害あ大たる にロンドン十七月周盟」イギリス カ欧暦は上海の単純に慶子サンテカ面のイギリス駆釜職保、居留民、名を上海に派遣する同総要した 文那・総動員法 まあらゆる手数を取るに次した。 に関う機動技法を起草し一般である。 を一切の可能手数をつくすやう。すべしたと云ふに感覚一致し、立法 を重し、更に同方面に於らず、一次にと云ふに感覚一致し、立法 の一切の可能手数をつくすやう。すべしたと云ふに感覚一致し、立法 の一切の可能手数をつくすやう。すべしたと云ふに感覚一致し、立法 を関いていていていていない。 に関う面に於らず、は、正本十八日同盟 1 上演事態観察 正は、正本十八日同盟 1 上演事態観察

互関がを無い

名を派して取り取ず虹ロクリ 間本總領事に對し何とか工部局側

退を開始したので、我が○隊は○

國軍需會社から

せず、年後四時五十分に至り〇隆 日チエクコのスコダ軍監査社と 逢に悪性なる決意で同方面を整一間に繼報五千萬弗の電器階入型 [上海十八日同盟] 目下語歌中の 一スコダ窟社との間に交渉成立を見 たもので、乳産肥はなほこの外オー 我空軍の活躍に

は言を左右にして當方の要求に聽し孔辞無よりの報告によれば、

低顆あり、極力努力したが工部局 をして思い止まらせる様工作方の の境に於てとを聞上すると共に、

【上海十八日同盟】十七日夜に安 る、午前六時癸 歓喜する同胞

虹目方面の居留民はアスターホテ

けた支那軍の建直しに狂弾する勝

脚するに狭定、右方面の居留民に

いては本事に陥内へ取あいず取しは高射機関院、タンクなどでわが

に成功したと言はれる、購入武器

ル、プロードウエーマンションな一介石が、孔時際に對し至急外題の 答することに手配を決めた、更に | 写軍の活躍により清波的打撃を受

避難を希望するにつきその一一軍警會社との間に武器購入交渉に

昭は長江東に収容することにした一當るやう最命した結果、さし盛り

らかに関けた、空は晒れ纏つてめ一した技が海軍飛行機が夏霊の間を

戦猶各所に續 楊樹浦、虹口方面鎭靜に歸す

を以てこれに原酬し目下たに對 - 浦東方面の敵に對して輸船よりと解析大いに努め、艦船は整理 - 〇〇を以て艦船上の卧でに劣め附近の敵は相密衛艦にして死方 - 一、後頃大艦衛子郎と同父び附近の敵は相密衛艦にして死方 - 一、後軍衛子部隊中 海軍武官室發表の戦況(禁婦

|留民の銀収方につき割合を選した||空を丸い編纂で必要な高度を保つ アール氏に對して上海在留息國居 一のみが知る喜びだ、澄み渡つた碧 て旋回してゐる、虹口を至から遊 この繋びは敵の空襲を受けたもの

我が容軍の精鋭〇〇機が出動、 り趣いてるたり趣いてるた 緩緩を行つた、我が在留同胞が居 留する虹口地帯の上空は朝來間断 ってゐるのだ、この間統一時間微 時間に亘り敵の根據地に徹底的

Anna annount annount

たが、数日後には更に全部諸南を 官政師師に一般居留果に對て直に 【青島十七日同盟】清南駐司ア 米人も引揚げ

支那勝手に移動 荷汽船の各船舶を

【上海十八日同盟】日海汽船は長 | 黄浦江馬飯用に使用しつつまっ 黃浦江閉鎖用に使用 かし今までの所放後は免れて か、下野ぜぬらちにやつつけて 矢つ駅り豫定通りペーやんこ の心事。所詮悟 らしてなるもの つけること

那の放送局は鬱 労力をなすべし を見上同時に空 價 定 答赤廳

問題に関して重要協議を遂げ同 一時四十分解去した 小站附近で

を策しつゝあるものゝ如くである。と、一を策しつゝあるものゝ如くである。 間の後多大の極密を興へて之を 銃を有する敵と遭遇し、激戦数時
だて我が〇〇部隊の一部は際機器 南方行二十キロの地監小時附近に 敵を撃退 前 (市イギリス政府は関皮政府より右前 (市イギリス政府は関を記て破職はない、元 支 も 国政政府は関を記て破職を記て破職を記しては、 ロンドン支那大使館は十七日 「職別投帯の可能性は決してなった課ではない」と置つた 本府辞令(計社)
(平鹽地方總率正)
本超標學大祖 能歷 (釜山地方法院部長) 同 荒谷 :: 粤

醫學博士ドクトル

都築基之助氏發見

(京城罨番虫院判事) 叉雄 許特賣專府政獨米英)

說 明 是新 送書 性脚氣敏 衝心脚氣 濕性脚氣 麻痺性 乾性脚氣 產褥脚氣 姙娠脚氣 等の治療 乳兒脚氣

(京城地方法院判事)

同二同同内別院 キ サス五百 五百千五五章半十二 五百十五五章半十二 五百十五五章十二 五月十十百節間五 入人人人人人人人 昱 亞多格五克格大克七四格 四五名 四五名 例如回路線和回路線 南 東京市進谷區水生町 新 信 堂 及豫防劑

₩

京城地方法院判事)

減

は院判事)

法院判事) 法院判事)

在院門事)

经验

表 僧 定

法院極事正)

事正 宝名 发法院检事正)

腸疾患治療 ど豫防藥

った、同胞は酸塩の高びを懸け カタツとダイビング飛行に移つ

見る間に蔵べたる黒煙が立ち

送呈書

の東上中のとこの中央技技)が

化學商務部長

藥毒消腸 123

合兒。下痢。大小痢。小兒綠一〇十分 かんりゅう 大膓加答兒の 後便の大膓菌 應 症 の性ス 特勝の 効脱初 藥加期

新發賣 小 兒 州百八人 金菱圆五拾霞岩 一醇人 金十圆五十錢 用 解育五十人 金八届十五五人 金一 糖衣丸 金菱圖 十世 鉄鉄

南信堂新樂部

中央部から杉山陸軍大臣の名 けてゐたがこれに戲謝した軍・一體の實を舉げて息軍を扶

り深謝に堪へず、強みてからに觀し紹大の倒船原に預り特になる大の側船原に預り特になる中間の軍隊機送に際しては

上説ぐましき銃後の動めに内 館各方面にこれを眺遠した

來たので翻督は更にこれを全

陸軍中央部感謝 半島民の赤誠に ロールを製きなって北支の花と配ったOO部隊が長の遺物二百倍性 は十八月平月では、「一百倍性」

で名聲の形死を選け東洋生和職工一所に安置され、軍部及へ遺族によ一司するが、花取供物等は即勝則官

つて通夜を登まれるが、合同符階

部で受付けることになってある

おいて開催の景鑑祭に参列のた一部一る時、隆海軍又は市町村に一部一る時、隆海軍又は市町村に する時、遺骨や融送するため騒行・遺骨出迎交は受領のため低行

軍人軍屬の 遺族優遇 **毀道省で實施** 

である時間と

|勘認者に渡いれて借行社に入り同一八時まで佐行社で一般の多理を許

月末合同告別式執行

開河村、行宮、南 州 八 雅朗

列車で帰還の途についたが廿一日 は十八日午町七世廿分〇〇〇郎

般府武の際んなる出題へを受け、「武公日まで使日午前八時から午後とになった、遺作に際前廣温で」も盛大に行いれる物である、戦闘

した軍人軍闘の遺族優遇疑として【東京開話】北文事威のため戦歿

同同

M

が、補間電手は聴像だった電手雷 次で山中、河間南郷手も夏切した

命中して胜烈な野死を遂げ、交口

後頭頭の整備に高り井上配手頭栗

を選送中、廿五日以來不眠不休に

質問上學兵松原鶴一 **阿克里美植木定江** 

下に歌雄中、松陰配子先つ首側し、るらも交もや方質上等長に歌頭が下側カー致一〇底長の射線指揮の「殿の射鶴を受け散然として膨魄する。」を表して水た〇底に〇底には、長りに動化し、正午底左方面から「殿を実示して水た〇底に、日本の

戰死同 同

古田米蜜 河原慶一 井上利熊 山中一志

加へて計四日夕から食事も執つて

1ろ即山路に無当の即域とすると | 近に今月末部域でしめやかな中に

衛にベンを走らす脳井本社特別の(左)

敵前三百米で悠々觀戦

# -萬の學童を動員

# 式典、神社参拜、慰問袋の調製

型、避か来方に向って見むを無し風を難作鬼、略形を奉献と思さは一貫にく愛問るの武災を撃行、先7威略におそれと肩となる。 国の大規範に高速させ、各日の丸の國旗の下に、これら第15國以近 を乱すことになった。この目光中部の至を限して高く場けられる頃日々と定め気能自サ馬の無検生薬が強を動動域。一大堂園運動画に撤國一数の高く叫ばれるとき、本前では來る九月六日を《建画に撤國一数の高く叫ばれるとき、本前では來る九月六日を《建

四個を改進として整数に流れず、全器主徒の異心こもなものとする響で、動能は生態の質遣とせず變役が同じ遠覚な方法を取ることになつてゐるが、全難から 各乃至四十名の場合は一個乃至二個、共以上の人員ある慰校は三

部が記しのパソフレットを発酵の生徒見能!面じて含意味に配作 局解説」のパソフレットを発酵の生徒見能!面じて含意味に配作 時間報識を能能することになった で練つてあるが近く各性知事能に開展方面に通牒しれる語ったに金字書、赤成の一色に塗り織すく愛図目々の具盤案に目下息務局

約三萬個の慰問袋 が作られ、然一級の将兵に

全鮮八十五萬の養蠶家が

者, 動以 全館八十五萬の養理家及ひ置糸器 し寄せる、この時朝鮮監絡的では し防寒、肺臓の役に立つ 糖と瓶ひつ 4あ

| 利力がめまでには取扱の順兵部に試 徹底周知のため活動中で連くも十

**麥國金釵會** 

哲、小禮軍司令唐、本府各局長

いよ路にしたい方々は、関係に、御家庭をいよー

お子様方をいよし

離方しお子様方

講談社の糸本」

売らが赤毛染

100mm

在別別人の避難し對する聯直通知

目下各道支管脈に全鮮六百五十余細欧科代を献納せしめることゝし

を所の闘共同販賣所を通じこれが 『霊國金釵霞』の結成準備は着

人の堂園流動を起すことになっ 朝鮮上流船人に呼びかけて半島

繪本は子供の宣

丁供は家の習

近にれてるたが態と二十月午即

り頭五粒以上を、靏糸業者より頁。 御園のために即役にたてよう

繭五粒以上差出す

深島の髪ー

を除く)各脳取機所と定められて 大連、天律、上海、青岛、加盟的

到して各等五割引 が航行する時

制引は、さきに総道省所、生により

郷、地方線首航道交往統路(小橋路び金線と連帯連撃をなっ橋本内地

護綱を献納するととなった。即も

あつたが十八日之が期別原間を讚一全峰八十五萬の整塵家より一日営一

『私選の金かんざしを投げ出して

銀数をあげて直ちに置行巡

もダンーへ良くなります。お子様が良くなれば家も

一册三十五龄 各地震占贩资

二十日發會式

先者には用慰金や花園、肺疾者に認じ婦人館では出征した局政の職 鐵道婦人會

## して出征軍人の家庭を訪れ慰问 は見舞金を贈り、また慰問班で組

活動目覺まし



## 軍で勞力奉仕 善隣商業生徒

31.6) 血鹽

し到着路線に朝



## 用して総後の一般として、東軍の「年の美はしい心掛に大いに既心し生小松出行型(でしい暑中体験に利しとしてあるが軍の人々は、この外生小松出行型(でしい暑中体験に利してあるが軍の人々は、この外景出り、東京

## イケダ小兒內科病院通傳染関係製造

不大

























ト著名機店にあり

アンチホリチン(ガルカリック) 新 薬

一部 々 しいアフツクリした

漢銀防護團 酸團式を舉行

静的で起版式を行つた 銀行でも 研護館を編成して、十八 船銀行が微々とその特別時間観点京城府内の各官職を初めとし話題 早削七時、朝鮮神宮に林頭取以 際は行政百七十餘名が参集して の機運に向いてゐる折柄。減城 郷・田盛司令部、帰族區司令部、職及町、田盛司令部、帰及町・野及町・田県町を含む) 戦役団

割引區間擴大 避難者の鐡道

支那人が献金 【東京電話】北支事種による支那 理屋の監禁事件

國のおかげだと十八日早朝、仕入 慶興君(16)に日本に來ても5十五 北米的町九二野菜行西のニーヤヤ 飲色突越二つ――山東省生れ京城 是国际企工政立 生幸福に生活が出來るのは日本帝 に行く削本町署に立省り金五四を

めてその金二頭八十銭を京城憲兵 ◇京城林町大籔かけるさんは可愛 い子供に浴衣を買つてやるのをや

た二組の遊客は取調べの信果は、 第二さらと言じ扱り果べ門実員に対する中国の治療は中国の治療は対し、無謀に対するのでは、のが、無謀に対するのでは、のが、無謀に対する。 一組に辞求事件と表に「右奏(君が時候十宮風の土地を判職が対し、一組の進客に取調されたとし」

無一文だと言ひ張り東大門楽費に「ひ宮城県福町郭水谷といふ高利貸」の間に捲上げんとしてゐた怨行が 『上版圏の観覚を請求すると交も中が一味となって甘言で敷理上観 一文と言語って唐銭りをさせ、変技を相手にどんちゃん続ぎの果 したのを知り悪値プローカーの連、して発君を引つ彼り題し料薬で

天氣豫報

観わたり

主惟。京城刀劍會

A SA BABABABABABA

後 報鮮新聞社

ホーロー看板注文にも應じます

本刀劍展覽會

城京

**靠**張

極光工業株式會社

京

永登浦

命十九日より二十四日まで

優秀日本刀敷多取揃へ展観 ………………時局重大の折栖大和魂をシンボライズせる

に一萬八千圓で十萬圓の土地と抵。 瞬れ目下表記者の行方最繁中

面の皮をむかれた悪ブロ

連

を組織に成べ向ふ途中、加挙を出 を組織に成べ向ふ途中、加挙を出 を担づらがトラック原五二一二監 を担づらがトラック原五二一二監

暦はの知りは

を選集

電標高的 東城府長谷三町、朝鮮銀行構 東城府長谷三町、朝鮮銀行構 新學神出、武田上正 房 新學神出、武田上正 房 新學神的、武田産婆學講習所

殺人トラツク

右秦君が時間十萬間の土地を相談。當に入れさせ、これと推上げんと

組は十日も監禁

椋鳥は金持の馬鹿息子

てゐるが何一味は同店母務員と

と共一せよ十日間も監製してゐたといる

国内の国同じ

事實は實に怪しからんとして餌路

更に料学でお客と如何なる意味に

百勇士の遺骨

無言の凱旋

日ごろ龍山驛に到着

初は無一文だといつて同様にされ で七十四囲州九銭の豪産をなし最 『城府東本町乘程二("\*)外三名は 七日これを採知した釧路岩域の 六日午後八時ごろか。右東明館

配つてゐた一味は手の切れざらな「百六十七郎七十三銭の歡遊をなし」あやつり金融を増上げるべく外部「暑保芸院では司法の取謂へをまつ活動となるや奇怪にも無一文を頑 八月年後六時から東別館に入り三「麟の上、田舎の富嶽の息子を巧に」事實は實に怪しからんとして朝路時代なるや奇怪にも無一文を頑 八月年後六時から東別館に入り三「麟の上、田舎の富嶽の息子を巧に」事實に實に怪しからんとして朝路

こを中心とする五名の一組し去る 方振威形古編画品原里李覧和二一監禁罪のもとに嚴重な取禍を受け

東小門外天香鹼那部に現れて交も一つけてゐた事實が轉り且下同臣は一 

瀬 千 潮 午 脚 ( )

사사극독 프립등등

仁川の潮時

めぐつて面白い事件が次々に起る!

~~でのんだ一段の軽い朝の

最多人口に

部が十圓献金 學務局の朴濟鳳氏

一部で友軍步兵は一斉に突撃を開始 してゐた白蓮曹長朝に〇〇宗觀測 **隊長娘木拉長及び頭側で叱咤激動** 手の梅景止三君らはいづれる大館

が呼び起ち上つて郭泰を撮影する。 信手などが死傷者の代りとなつて には〇隊長両腕、古田、赤寶各國 手だけとなったが、観測口味の通 ため必死の努力をつづけた、範囲 通 を見、決然として開連組に続つき 関が攻撃に際し〇隊長の戦令で引してある有際 名古屋市擴木町三丁目一番地

**帰兵進尉** 伊藤憲之

設も男取に活躍した、一声命地は聖

西苑の職闘で敵の集中射数を受け

同 芳賀正雄

| 京城道院 (十七月) 最高三五三六書() 原曾の夢 | 三二度五

田子閣子・ロッパ・エノケン・エンタッ・シル丘定夫・小林重四郎・入江たか子・高田ドピ・大谷咬夫臨實作品

ソ・アテヤコ外総出版日本

かしてお園の質めに遊したいと 得てゐる人であるが『自分は何

國民は現金一千國を上司を通じ國一つてあたが兵役の義務もなくつたが十八日本府學務局整院府第一かしてお國の嘗めに遊したしとして戲動し世人の質響の聞とな「學である人であるが『自分はとして戲動し世人の質響の聞とな「學であるが『自分は 

冷房完備 無心 咨

災邊郡の

選擧違反

何れも有罪

康議員失格

だから二個の即決器金として

撤さ『巡視しましたが異状を

職後の原則なく職員に重備を 地方民に適信せしめ及び

金田田で柳次に服し失格した。鑑問にお願う文鑑で観測中であった。

銃後に溢る感激の献金

南軍事救護會 道民の赤誠凝つて

海美州 海索斯州用道西斯科

か二十一名は選組造反に

器の金属で氏が昇格するわけで出

次指者も失格の場合はたいの

所内西城里八六の徐成實(平區) 夏の日の僻荒事件

電を中心としてその家族及び家庭。32一語)「実被すべく「際政もこの道」 「感いをなからしめっため軍事教師」と集まつあるので数月中に象足額」 あつて照順中の我が將兵の後顕の「破了ること元千頭に選しなに蔵々

【平별】 平南道では均熱の北支に | も十六日遠に豫定領の一英國を突 | 寄記

基金倍額に近づく

妻さんは一国を皇軍慰問金として 院献金として書歌、更に館行商の 風の脆行雨の支那人姜季間さんは 製造州署に原湖と照識の廿回を図

め特徴されてゐる都に」と去る

単校長を訪ね「児童に練路を通行 作目から群山線五山線を中心に鑑

鎌路を巡視する一方五山豊温

以前回面新里の新鮮の工事中ご

ケ月働いたことのあつたのを奇

制服制帽で鐵道警備員を装ひ

二勇上戦傷

線路通行者を恐喝

早くも天津方面から

②對支資品は既報の如く海産物 ついて職協筋は 数すると共に調査中でこ

に詐欺

ことをつび今後の骨部が周の形で 鍵して製込むべしとの領勢が接頭を 選手基別野の大場に「種類的を超 要市場開拓のためには親寮職を担 してきたので今後の青島方皿の の観測し、有力な朝鮮水産物の常 紙幣偽造團 共犯もお繩

七十枚を修造 三ヶ年に亘つ [海州] 既報

特別交渉を置けてるた海州南本町 題への結果、爾州方面へ高飛せん 的信念の排例的束のもとに

上帯兵は去月廿八日南苑における一級の女性の【群山】阿四明治町田身天木義雄一駿楽婦人、 つたるい手配響がぎつしりと詰つ 良家の娘等内許人各階

永登油に於ける藤井特派員講演會

銃後の熱誠を映し大盛況

皆通知があつた。交流逐渐状態面一ぎ日の有様を綴つた彼れの懸堂詩一記者の北支能臨報告館に十七日夜

激版で名誉の脈似を見らたが意思

井に近通されてゐるらしく一 五枚しかないから米だ甘五枚が市 施けれ海州署に身柄押逃されて來 日都湖南面の銀蕨業方に蔵伏中を野荘俊(二)は、十六日午後二時延 枚も所持してをらず假置總数は

**视察團派遣計畫** 

夕食の支度の火

氏は最近内地から贈り、十六日(銀南浦)故意田能作翁の観子精

们に燃え移る

の外儿十一圓五十歳を献金し 日暮らしの靴直しが『私も火

銃後の意氣最高潮!

キング」の感激盤!

戦雲漲り

(39)

まさる

唄

船主以下全乗組員は溺死か

りこれを消止めるため大騒ぎを顔中、夕金龍鷹の火が帆布に燃え移

延安妓生券番 慰問の演藝會

金の出所など前及すると甲立に襲し和佐町旋田盛二(\*/船長間入の第一安教等では演奏館を開催すること)酷暑も物かは、観頭に在でに出動現場の総顧を行ふとすもに「した戦められ船主徳島護海部部目」【延安】皇軍歌問金遣誌のため延一學校五年生大池和子さんにして『日本』十月間日間「のと認められ船主徳島護海部部目」【延安】皇軍歌問金遣誌のため延一學校五年生大池和子さんに

選は船道二萬國、御建油二萬八千

の臨に唉く生話――将内明治町小【元山】非常時局下に於ける献金

花を賣つて 感激の献金

齊に起上りまたう

炎上石油船の詳報

一銭を献金した

館と近く大明飛行型で

老の身の奉公 感謝の五百

非難源與と紹介して能域でれば、「謝し、顯井特で滅じ融後に被後の」 城部 3、お に が 大塚を設いて総後に治療を足し難 なの影響と無井様を滅りが側に思 (現)、下に影響の散象、ケスをと説いて総後に治療を足し難 なの影響と無井様を成りが側に思 (現)、下に影響の散象、ケスをと聞いては後にとの場を足し難 なの影響と無井様を成りが側に思 (現)、下に影響の散象、ケスをと聞いて、(現)、下に影響の散象、ケスをと聞いて、第一、「をと聞いて、第一、「をと聞いて、第一、「をと聞いて、第一、「をとして十一 馬寸きや 単一 巻きで、 第一、「そを起う」、「一

先つ全近起立して國旗に敬

の能地なき起南線の艦|瞬の質況を具てに襲当すれば磨象

はた文語種で行んで感謝され影響

に幕を閉ちた(劉貞二十、同つで 公開して十一時寸ぎが明一縣況里

郷下に続一年間に配り周氏の続後の海子鳴りやまず、続後の力強さを中保立つて『暗局に鑑みて』の「重る異性を終り建筑すれば、殿磯

|・いで日本な際鼠域支所長神型航||整護と強調して行一時間||十分に

をうけてラチオ的窓を終へて駆け「瀧さめやりぬ郷に先づ本職の世紀。 番仕について黙羅を継び、その後「鰕筋シーンを展出した、かくて殿

丁を浴びて登壇し〇〇部騒の北一州、上海に亘る事態映像の本地の一

ら五千圓

要者四十九名の多数となり、罹患なく本月に入つて十七日までに新

鑑山は常局終死の院際選化も寸強「跳の集れがあり、差山製では第二一数個は去る十二日綜合の下に職町後出りま物の要差に青かされる|今後季節の鑑り目に入って逃に羆|【工墜】職町貯解観館と往町製郷

式、第三式と檢信的月日間歪を行し機理堂で身軍のため所轄管を暗

今月の新患者既に四十九名

般の注意を希望

宣川の献金

「宮川」堂園館に安託された朝鮮

懸矢分隊を経て國防飲金五千個 八十三箇を新田した、因に同公司のは七百七十二回七十銭と慰問作

1870 アルコール時代 春風空仰橋 1870 中 志 願 往 右女助 年 右女助 組 馬 二端返し 鈴木 秀林 担 馬 盆 踊 鈴木 秀林 おばこ 成田 生行

て見れば アザブ・伸 マデブ・ラブ

院の河豚・小山内玄巌・早陀羅經・柳家つばめ 肾有名蓄音器

シンカラ・マリ パネイン・ファンス カラ・マリ パネイン・ファンス カラ・マリ アルスマンス

大日本雄辯會講談社編修發賣 あります

や我が戦友

(片面) ふるさとの母 松島 詩子はいは1800年に回るはの間で、人の子にこののもはない間でした。

(片面)國境がし新いみどり

名住。非常時間昆のぶら

院の戦闘機当の資 長城悲歌(經濟) 南部 朝男

M

▲ 近衞 八郎



ii.

ない(ごれ) 新作猿蟹会 ない(ごろ)

し戦捷ル

一のらくろ



















つれ。女く シかの。する しの音のも島 しの音のも島



乗り組曲「ペール・ギュント」 を登出曲「ペール・ギュント」 がエードの死(ブニトラの頭 がエードのアンドラの頭

表 場にようでいまする (一般)を 場曲 『サンスーシの笛』

**管理**型

逸の 

獨議

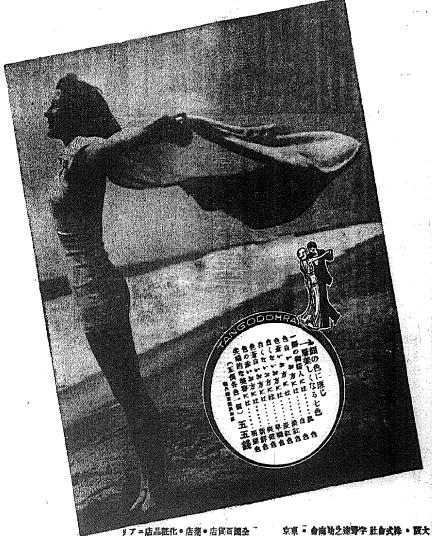
 $(1, \mathbb{R}_{\mathbb{C}})_{\leq 2}$ 

メック 鍵でも配いって ハンス・ブントメッス おめょつむつて ハンス・オーケック アンス・オーケック ダンス・オーケック (対すべ) 人形のワルツ ランジャ・カライ 四のワルツ ランジャ・カー ロック・ファン・コー サイ・オーロ 明 の 明 の リッシュ・レンカンア キーイファイキーは 朝
インナのボンボン、ハル・ハイでお楽費
ウインナのボンボン、ハル・ハイでお楽費 一、二、三、四 ギターニ番奏 (\*\*)

(1,59)







さがむひに

リアニ店品証化。店業。店貨百園全

(日本: 東年 (東年) (日本) 明治(東田) 田商領 (日子前) 別書祭用供売 石市毛きを用金の工業関係 計時、東北・大阪日本 (日本) 日本 (日本)

ッセ 新 化用行底 ------ 題 草 人婦 クッサクフユリ



復恢勞症。壯强血福 令



!! る當が品景大のみ好お……で枚ールテッレ

へ部全者募應

料飲酸乳。[2]。沉清



近藤商事株式會社サービス係東京市日本橋區室町二丁目 ッテル送り先

マラテル又はレッキス(大学)の で切抜き、映画、神住所氏 学と賞品一口づく是上 の方へ上得の大学品を完上 の方へ上得の大学品を完上 がと賞品一口づく是上

性のものが決策に消滅しつくある

とであるが、近年ではおくる語

せいに闘すべきもので、かやらな

ロの思い潔質の存在は、その地方(うてもこ)・・皮な、 あらゆ | コガドヒラでしょうだったちょなはいに解すべきもので、かそうな の番に悪し感に至るまで、あらゆ | コガドヒラでしゃたは、たちまなはなやはり一般解釈他はの思い。の音図、さては素料、方は、無性 | につかり合つてあては、たちまなはなやはり一般解釈他はの思い。の音図、さては素料、方は、無性 | についてありませんなものはなければ、

西の思い迷菌の存在は、

その地方

あるやらなもので、あ、不名器は

の適中軍を過大に信じてある者が る選病について刺激を下すのであ

るが、質は知らず今日でもまだモートリログ

口が干上つてしまふだらら

の文化程度の低いことを物語って

ると思ふ、その代り地方の感信に、も一般能なやうである。 対象といふのである 対象といるのである は壁の他事する生業の規定 でも終日となくあるだいが、 そ につけて、その方向との変調を一つのも、彼等の他事する生業の規定 でも終日となくあるだいが、 そ につけて、その方向との変調を一

親な野辺な取ぶべきものが多し、 する年適り、復勢、日は人狐とか犬郷とかいふやうな深 支や九道では個人に對

ロしたらうが、今日で

原源作品は一切近却セイ作品の版盤は京城日報社に膨大

豆城帝四大學總長

避益 原

出的上、レコードとし一般に普及徹底を図ると選作品中の適當なるものは登録一流作曲家に依頼し

八月三十一日

實は都鹽の方に却つて多いといよ。何萬とあるだらう。その総類だけ | 取引、移跡、旅行、移物など最地方に多いやうに思はむらが、単 | 迷信の数は数へ立てれば数いく | ら、いったい凶方といよ感味は

迷信は生活不安定者に多い

つぎの話

東京天文台 小

清彦

第いかといふと、一寸汚へると、地方と都館ではどちらが迷眉家

からなってとかも知れない 他 さない迷信はよい

る。いつたい図方といる意味は、

強く難ましい顕民の合唱となつて、高らかに歌ひ出されないで居られませうか。その合唱こそ、その歌韻こそ、疑も美 影れる國民的感情と、緊張した國家的特神、そして、それがただ日本國民であるが故の終りと感謝の誠心、それは、

へ高められて行くことは、戯に考らべきことであります。この我々の胸の膨から盛り上つて來る、抑へても抑べ切れに來が、その像大な運動を賭けた一大計画に富国し、國民の、様に登中島の人々の境が、一斉に動成されて、唯一つの崇高

皆様ご存じてすか?

正義の意氣と情熱を讃

を察る所以であります。歌舞は智雄戦权兄童にも赤丘理器され、展記教として愛識し訳さものでありたいと思ひます。の正しい歌声と、永遠の実命とを、発用院の人々をして悲鶥せしめずには潜かないでありませう。こゝに置く 「関起選集」の中島二千三百萬の合職が、発風武一傲の大合唱となり、その怨々たる懸繁と、ぷえ上る態機の資額が、やがて日本治過この中島二千三百萬の合職が、発風武一傲の大合唱となり、その怨々たる懸繁と、ぷえ上る態機の資額が、やがて日本治過

無代進呈

## **東側の部です。 製画の棚に化の歩兵は巨大左軍用原製はで戦陣の後方に著建して軽車を開発するのがしたものです。 製画の棚に化の歩兵は巨大左軍用原製はで戦陣の後方に著建して軽い起立の演習を刷り起です。**

昆虫の種類は六十四萬種、各種が東十億四も居る事だらる

日焼止め化粧料

かといふ一つの機能である。 れる時代が来る。錯年といふもの。手紙を出したのと入れ違ひに、そ 世が死山と、急に結婚該が持ち を範囲するといる手続が来、。 彼の起伏に乗った、 乗っない の製造から、相手住頭は楽しいが一手概を出しますと

がつかりして。

下宿園の内儀がいつた。

例因ローチニ智科會批評的店

十九日若剛封切

一川でタナベ

ワーナー『踊る州七年』と共に



## の虫昆

正つて居り、其の保護は歴外代徴である。胸部なら六本の脚 民虫の體には、何れも顕彰、駒心、腹部、の三つスト成り 極く細いチューヴが繋がつて置り、 るには腹部、瞬間に配んで居る呼吸 之を通じてる憲は遺内各部の細胞に 孔から空気を吸ひ込む、呼吸孔から

婚人の夏の日焼けを防ぐ化粧物。は、有害な日焼けはせず、 郷山市場に出て語るけれど。 私のは健康也に輝き、またクリー 適度の紫 線を通せ

元に数る事も妨けるので、皮臓は 大時三〇分花語(県)田濃 き・等・《七時三〇分 親调 (河)※田孫一人八時四顧 (河)※田孫一人八時四顧 (京)※田孫一(京) 大日本聯合 合門國〈明古〇分地顧伯 在門國〈明古〇分地顧伯 在門國〈明古〇分地爾伯 → 今晩のラギオ 東寶總動員 樂園の合唱

田キング、古川線波、 斯井黄 地井明 PCL作品

行人であず、達切野子、市 る、山際直代、梅園 を、山際直代、梅園 エノケン、エンタツ、 林重四郎、大日方傳、

製な量にけ盟過して皮質にあて

たり健康を表する始末とな

從つて有害な日降行も同時に そこで今度紫外線を、健康に

自分の一时の厚さに皮膚に強れ、脳管に大公使大、音楽に鈴木談。 龍子、 川春代、江川間子ら東西全ア アクと動気した明朗顔見・映画で

全日本の行進曲に適す

民讃歌。を募集

洲で作り出された、此の新聞三八 がげると言ふ、新しい合成物が歌

セントを派入したクリームを、

## を出し頭部から、 本の順角を出す 間を往來して居っに過ぎない といふずのはなく、唯内整理監督の昆虫の配液は、緑色の変虫で配管

毘虫には鼻や肚臓はない、呼吸が

ちらにも脳心はなかつたが、どち一進いてあることもあっ らかといへは、数据から送つて來。『あんな女に泣しれ 妖から送って来・思嘆い主は美『五子が恩賞を見 彼に乗ってあなかったので、ど 叔子から送って来に無異の主は 日海緑酸にさらでやわけ 娘は、こんでふるやら

粧料

料着

他联盟於用

た影覧の方に、はるかに載引が感が出来らものか

結婚の波

は、 もいくやうに称へら 「それでは質みまう」と、複雑からと、な数日、十数日は過ぎれ。数世からと「何うした」「何らすたなことは何らで る」と矢の鑑度が来た。

可一品 惠明 商 司 章 整 部 族國 並 眞 保久 大 三可令 彭城京 都中 二二(2)本章

みやげ■世界好評の■滋

快

戴いた人が■大喜びて

改網五分目 二零 九圓--四分目

吉備 二圓 霞網 三間 三圓十五銭ヨリ各種

料理講座で

(最重要)

店 商 木 島 社會式株 舗本素の味

所は 使べ

「味の素を」 ばよろし。

訓味

料をしと言ふ



## うちみ、 神經痛、リウマチ くじき

(本名 ママープラスター)



二等 (18) 金五十圓妃 一一等 (18) 金五十圓也

現だ際心の出来ないことである。 「健議官、最後の手紙、大部解的 「最後の手紙、大部解的」 「現代の機数として」。 選者の言葉

費ものも膨み立つやうな歌が欲しい。

就の動たしい職業とか、防禦車ので、同じ日に對する吉郎の鞭節もあ、それとよう一つは、運動の律の流動が三つも四つにも分れてゐる、それとよう一つは、運動の律の流動が三つも四つにも分れてゐら、それとしていか、概じて いへば、謎 信 とあはてく、しかも知らぬ顔をしらないが、概じていへば、謎 信

あるもの必ずしも非迷煩家とは限一般にてゐたが、その親りに領付く

歌河台戦するやうな祖園なものが登し 歌河台戦するやうな祖園なものが登し 歌河台域なは初い、中部二十三百萬田 田が中がなは初い、中部二十三百萬田 整原時三郎

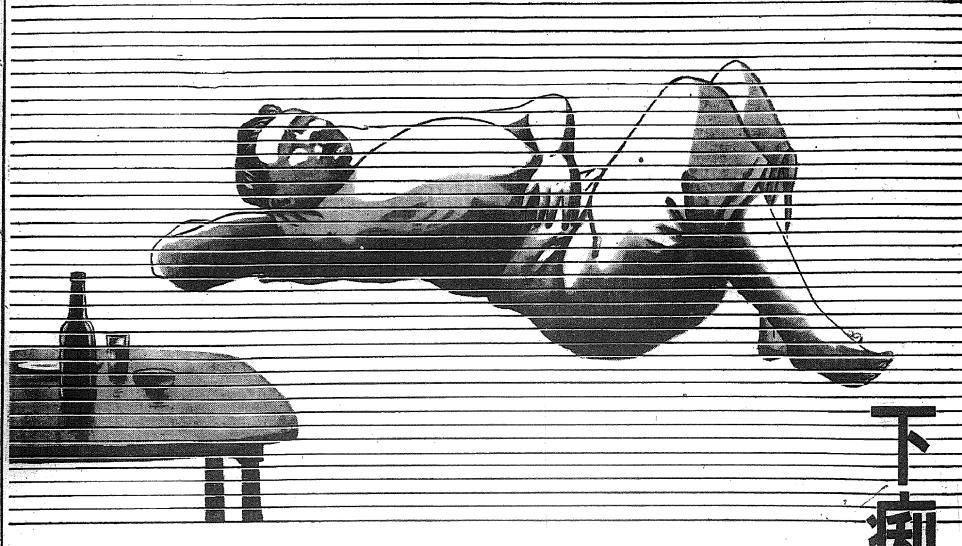
るやうな歌が姦とい。即ち、大祭に盛でも、そして、何時までも、また、國民のすべてが、何時でも、また、

あせも・たいれ・皮膚病はこの一浴で 一家は奉つて健康の喜びに満つ!六一〇ハップ愛用の霉素庭はこの からだを残める、家庭の温泉 元氣衰ふ灼熱の眞夏 

舗本フッハ〇ース

大木 五臓 圏本舗 大阪市北部洋路町一丁目大木 五臓 圏本舗 大水 合名 合金 社

## 刀儿病傷胃性慢



# **浸だけば嫌アイフィアクラル 原体情がは嫌楽アイフィックがはないない。**

でいるでは、 でいるでは、 でいるですがある。 でいるですがある。 でいるできないであります。 でいるでは、できないであります。 でいるでは、できないであります。 でいるでは、できない、 でいるできないであります。 でいるでは、できないであります。 でいるでは、できない、 であります。 では、 であります。 である。 であります。 である。 であります。 である。 であります。 である。 であります。 である。 でありますが、 できない。 でありますが、 できない。 でありますが、 できない。 である。 でない、 であります。 である。 でない、 でない、

それで斯うした胃腸の非常時には、まづ治療薬アイフを服用して慢性的をれて斯うした胃腸の非常時には、まで治療薬アイフを服用して慢性的をれて、腹痛、下痢、嘔吐、消化不良、食慾不振等の諸症狀をも消退して機能の恢復を速めますから、慢性胃腸病は素より夏の急性胃腸力して機能の恢復を速めますから、慢性胃腸病は素より夏の急性胃腸力して機能の恢復を速めますから、慢性胃腸病は素より夏の急性胃腸力タルに冒されて動、腹痛、下痢、嘔吐、消化不良、食慾不振等の諸症狀をも消退して機能の恢復を速めますから、慢性胃腸病は素より夏の急性胃腸力タルに冒されて動臭常を整へると、もに、腸管内の有毒物質を吸着して體外に排動異常を整へると、もに、腸管内の有毒物質を吸着して體外に排動異常を整へると、もに、腸管内の有毒物質を吸着して體外に排動異常を整へると、もに、腸管内の有毒物質を吸着して體外に排動異常を整へると、治療を管み、併せて、胸やけ、愛氣、惡心、潤する等、腹痛、下痢、嘔吐、消化不良、食慾不振等の諸症狀をも消退して機能の恢復を速めますから、慢性胃腸病は素より夏の急性胃腸カして機能の恢復を速めますが良い、治療薬アイフを服用して慢性的タル等にも打つてにけの治療薬であります。

町之西谷水清區東市阪大

市 和 順 編本賣養 番三〇〇五・二〇〇五・〇〇〇五(東)新電番五四三成大器編 塩番九町 時 県 區 郷 本 市 京 東 春〇一〇四川石小)新電番八八二六京東音線 京 東 目 丁 一 通 縣 山 市 連 大 番ハ〇六七新電 番五六七三連大音線 連大 **慣** 築 調五十七 分 日 四 競士五四 分 日 九 四 三 分 日 七 中 間 三 か 1日 - 十 中 フィア製 符 は に 駐 紙 収 フィア 減 別 は に 能 紙 収

▶ りあに店薬名有の所る到國全◀

灰 おもない。 感所の外と 聞 いたの をからかつてゐるらちに、兄を招。『大説切が離話した。川曾へ、出をからかつてゐるらちに、兄を招。『大説切が離話した。川豊へ、出代の大説坊』と、家の中へもいつた、外へ座五郎左衛門の弟、此代の大説坊』と、家の中へもいつた、外へ座 に不思議はおえて、父解はなんねには様と嫐ッ子の難で。酸取つた てゐて、でれか殴つてゐます」 『むむッ、こいつ、悪気めが、動 一般がしただし のた前三郎が、振辺つて、 『清水村だと?。兄五郎左衛門を 「おら、清水村の百姓だ 近づいて、一般、安れ切って 水を飲み総つて、慰をやすめて と、治三郎は臨職の穴を、なる 大脳切は、ものも云はず、刀を する気で、呼びにやつた。そ 震断の外に刀がびかく〜光つ 外へ郷足で飛びだした。町 思い切つて出題した。 二郎は確定を掴んで、死職、 その思で意識った。大野坊田町大町村の町を 断合が始まつてるました。 長谷川 岩田專太郎 曾公 びだし、裏の御目さして、現先に つたるかりたつて、脈付けたも、 「黄和田五郎左脳門さんの家はど れかれ無し、願ごなしに叱りつ がブチ頭ってやるだっ が返り散にあったのだと整つた。 か上。早く逃げてしまへば赴いの どといったのを、多くの話壁の た。近けたがら、他人の話野に関 職職は、その方へ 強敵に配け を対すが、新常でない。 かないうちに、駈けて通る人が、 の、資和出五部左衛門の宅を知ら 川省へ け、黄和田家へ近づけまいとして 「大阪坊の奴は虚いから離かものが、その光に関こえた話聲は、 見題すと、方々の家から人が飛と、慌しく云つて貼け去つた。 刀を扱つて、ますます、恥はつ 「五郎左師」が殺されたとよ」 心室りを探してみた、が、戦り こある、で、今の話で、兄吉三郎 個家なく群ね、まだ、 変解を開 早くも、目別しが縄を襲り、た 翻載は、腹が立つて耐らないo ようし岁大郎切といふ奴、おら 郷酸は大型坊の娘を聞いて知つ 「シー家味 畵 作 けの子宮繁を扱い時間置いたり黒「は蘇り、脚は冷え、腰不足に陥り」で全次利益はありません。い夏別は繁を取んらゐる間や、洛」いは蘇り腰は僻み、魔は置く、『神行に色が着いたり種を増大 い夏朔は斃を限んでゐる間や、帝」いは斃り既は節み、風は重く、腱」はに色が奢いたり量を増大する丈から看下は止らないし、魔故の早」ら絵と帝下は強乏鼻を驚く此い臭。半司の手器は却て取くなつてこし 服むとか、吸取る丈で断じて版本一分解して短報を起し全身の蹇弱か い脂質の 子宮翔を用ひたり して一食感は衰える。けつそり痩せ細り おしか、別取る丈で邸じて版本 分解して監報を起し全身の護弱か い助政は搭此窓から来たもので生、依郷の大抵評談するやうに乗を は、直ぐ治る壁いものまで借下が「酷く顔の貴縣い婦人病者の悪に名」 淋毒こしけの新妻が に應へて夏手當は全身一時押への は危険!

を不味くすると始終日縣にした夫の思問も続く関令年は有継いワセトン球で全然臭いません。食事 サバ致しました。まだ誰職は早いと思ばれますし 第つき治療を配けて二日前から下物も止つてサバ け人間に出て赤面するほど子宮が臭いましたが、 大至急制的的級ひます。毎年の例は番から壁にか お照け握り少になりましたし近くに際店は無し動 使品は二里も辿方で消に不便ですから服務用紙を 腰のだるみはとれぐんと類分の一髪したのに元 御師に動送願った費店御館行の「女性の新牛理 惡臭とこしけがとれて しらちを處女が秘密に 鏡見つる子

租子

脱災はありません。五六十日も間のあつた月經は ない位置かつたのも標く奥かな頭腦となって主然

一回きちんと定った上にその部度概が緊が摂

の館みもとれました。館や手足の皮質には能が出 て来て大磐白針の着きもよくなつたし針孔も通せ

糧の健保

辛いのです。五月初旬から徐々しらちは増し股に 母に知られて婦人科で診て強へと勧めらるとのが ひます。例の如く歌筠を破跡な方法にして下さい 學」を飾る標に層限数しました。職々ある婦人藥 したから州六日分を至急代金引挽嗣便でお邸け願 の中で魔女のしらちと月郷困難にはワセトン球が カイーへが出來て苦しめられて語ります。 一番使ひよく安全な上に効目も確なことを知りま 断る所みの苦しみも消えたのは何より数はれた劉 は残り十日分あつてそつくり知人の異様にお別す 持ちで御座いました。厳いた卅六號人ワセトン跳

き安心した所以が概さけた概にも少しづく物が附日一日使方へ向ひつょあつて全治の見返しもつ

井 美 和 子

再發しない帶下療法 病院でも成績が良い

皮質の底一面に脂がつて淋巴、酸菌を深 膠嚢人りなので 直く残さず 溶けて 悪く 時間に用ふると外家に强くて過温に脆い ワセトン駅を體に無理のないお服みの

諸色の成分を受動まで残さぬかい前次業 特の要味に特益ある質、こしけ増れは肌 れたものからこしけの飛起することは敵 部から殺菌するし爛れた思部を敗むる獨 られません。粘つた脱色のこしけ、潜い て味はふ爽快な氣分は他の子宮際は真似 を使用したのは殆ど動らぬ位サバくしし

**診臓十二時年マテ及ビョ到** 

足浑商店

式

會

肚

マトン郑昭人七十貫―六日分―一回世録ー・主婦も昆女も同じ完全の治院が旧來ます。 けの方は二日に一回、 回、薄い少量のこと

國大属院婚人科等に 院婚人科、其他の全」に失敗のない効果を駆けられる火 へてゐて帝國大殿南人型者に眺めて獨りで心ずこしけの思者にも監測を興一人型ないの思者にも監測を興一結果と同一であるやうだから、薬 にこれ以上安心出來る物は現在 置隣色赤味のこしけ 出撃る方で一日一 使ひ方

皮膚泌尿花柳病

夏は

鮮産の代表品

サッポロ、アサヒを

御愛飲下さい

醫學博士 波邊音

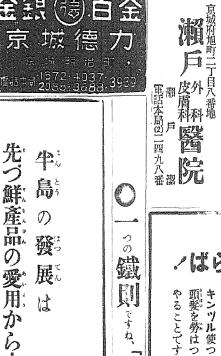
ませんし驚いてをります。 官栗は治し引る力が無かった何でせる。お店のワ セトン端を限ひてから間じ徳干弥に行って再選 | 子宮のがみとこしけをぶりぬ

は

こしけ。再發を













なみ望お軽いよ

店商村野社會式株 翻本



**災を治せるか全く東部用来ない位でしたから領域中に過ぎ何時継越を謝田して消滅。前の道、内臓いて來ました。全る三年は半宮をしたがら五里跡** 

り思い想ひをして困ります、個に関係の効果に歌

白い下物と腰の痛みを



6,40 7,10 2,10 8,40 1,10



手當を選べ全治を早く

ONO SALMOT

五分目二等東京製品級的具質

(回が選が多)

ームが發明されたの

です。 1)

悪い石鹼分、悪い

ス

「これまで無かった

ク

~四分目

**②印品級平庸本テグス設置元** ②特 鹽 投 籣 璽 遺 元

ンの入ってない

ったバニシングです

のびるから。

フランスのオリー

ーブで

② 網久商店

擬語記域 二二十八六番

本年漁具の御用は 是非網久への

しけを思部から止める治療の仕方

木

参替トニクリ

· 學 | 座 日 朝 🕒 

舞見御中暑

候仕資休間の分常

十八日より六日間 北 文事**学ニュース** 2.00 6,40 まトロ拾萬弗玉手箱 2,10 6,50 日 活裸 の 町 11,30 3,40 8,20 (紅文母の完全映画化) 各所全部大人計(銀 9年三十銀 小呼上二十級 |日本日本日本日本日本日本日本日本日本 明十加一十三日 - 田町 朝日 世界 ニュー エー スー 高藤 愛と 結婚の書 熱煙篇 

日 活 裸 の 町 11,30 3,40 8,20 (和文學の完全映版化)

2,10 6.50

十八日より六日間 北 支事變ニュース

十九日より - 十二日まで - 四日間 大學の赤ん坊 阿志正郎・大田郎二日道 この親に罪ありや 坂本家・阿田原子主道 女のまこと 北紀衛子・波門の取主道 の大衆席20時は今上10年の年日正午より三回入借なし 全官首院 テ 記遊漫門黃戸水 館 央 中間温泉





類はとうく

だち

かんご

金勒公公

神田伯治演

田安の一喝

だっちお 答照有 難う在じま

藤井耕建酱

一方正米狀 勘『アンやつて見れ、矢部同じや 近っては、マア勝附のもので、ヤアがつて、足から先きへ行かれば、こうさね、マア勝附のもので、ヤアがつて、足から先きへ行かれば、こうさい、マア勝附のもので、ヤアがつて、足から先きへ行かれば、 女『畏まりました、アノ然前屋で 二分づつやるぜ、是れも郷女の選して』 動『酒を』 本綱けて鑑いてえ。 の『水知いたしませら』 動『西を一本綱けて鑑いてえ。 いたしませら』 動『大蛇な奴だな、彼々飲んとき が「水知いたしませら』 い、夢みませんが、どうか是で御

んは何らいたしませら」

超「ヘエ、二分づつ……………」を と足りません、モウ些とおりひ申うも有難ら存じますが、是れは些

るも貨車の不 女 写承知いたしました……』 は大地主の整 うな肴を附けてやつて臭れ』 雄『オイ――寛丽居、寛丽宮、ど

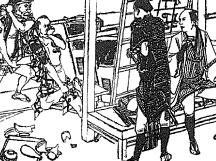
14

つて、心虚まで来て動けねえほど

「思い飲まなけれやア飲まねえ」道を飲まして、其上二分づつやつ

**翻目神に弱る 動 『何だい罪といふのは』 つて、 が魔まで来て動けれえほど像して変込む 第 『へ 王どうも罪でございます』 も宜いと思わたのを一分中るとい像すると先襲 うだ、道を飲むか』 「「期間にするない、初め八百で** 勘「馬鹿にするない、初め八百でしてえんで」











なくなつた ロモア と飲みわえよ 動一正しねえ 一出安、あんな書題されえでも宜いおヤアねえか、一ふと難けちまつた。 間 オイー、 そんなに 意利を振りと 股バラ 壁になって、ワッと 芸師 『オイー、 そんなに 意利を振りと 股バラ 壁になって、ワッと 芸術とい か双の 一般 を斬った、パーアわえか。 明合の上手、無職法の

## 19 1 (a.1.7) - 12 (a.1.7) でも満むんでございますが、一六

融行人

の際様だ、ナア兄弟、良い酒おや「こ依いた」

等 明 んだな、一合やは合成むなて鞍生、やすがら、些方で扱い中に知られる。 明 んだな、一合やは合成むなて鞍生、やすがら、些方で扱い中に知られる。 まま だけばんで見ねたな……組さん、 てるつて、中 こ、 こまま だけばんで見ねたな……組さん、 てるつて、中 こ、 こまま たけばんで見ねたな……組さん、 てるつて、中 こ、

一十八日)

△『甲州府中無南の無郷法の富蔵古と云ふなア権のことだ』

000



部隊は本日午後一時某方面より到着これを安田部隊と稱し直ちに某【上海十八日同盟】海軍武官室午後四時十五分發表=我が有力な增援

個人保護のため騒逐症バカレン質

意味すること」なり、同能は虫

六日闡印スラバヤを出戦薬と

十三日上海着の豫定である

わが當局深謝 兩國の好意に ればオンダ歌が江上海は住間

驅逐艦を派遣 オランダ政府

面に配備された

わが空爆の戦果

|経験次の爆撃における腹壁場所

| 日前盟|| 海北市経帯十一はて左の加き突線的収穫のが成立|| 、工主局は余林路、瀬山路、樹|| 七磨まで各分器にオートバ・周前盟|| 海北市経帯十一はて左の加き突線的収穫のが成立|| 、工主局は余林路、瀬山路、樹|| 七磨まで各分器にオートバ・

定の聲官を配置、未明上り午後

な解析の第を動り十五日深里には、肌臓の配納については特に側角に翻の取次初の意参の別をとり引揚

等かの行動に出ることは筋違ひである

|悪に米||繊維としては症支米人の生命抵抗保険にのみ敗急すると我にへル長質の平和感明を指観として世界の興輸を喚起し事態が進かに平譲に闘するとを希望してゐる

海軍を監視す

行の引援の際アメリカ大使給に電

た公寓によれば民が大陸領域一 「東京電話」無事者島に配出した

上海海軍武官室の發表

器、器門、網與、杭州、羅與

八月十四日 南京、南昌、八月十四日 杭州、阪源

支那よりの引揚

すでに六千九百名

結果微符機中の飛行機凡そ百

根を厳破、空中等で凡之五十級を を動成、空中等で凡之五十級を が電野安治中島は蒸州空中等にお いて名祭の夢死を遂げたり

今次単数のため支那各地より内地 一、秀港々

台版もの他へ既に引揚げを丁した る厨前民数は十八日午前九時級在

然一部局質量に我が方の要求を容が不開となつてゐたが十八日朝氏

以東地區の工部局最終官引援問題「上海十八日同盟」虹ロクリーク

【上海十八日同盟】本日朝來商山「經婦女子に弾丸を浴せた難の鬼欲

非戦闘員を砲撃

四五〇名一計のハノイク

を記込み、非職問題でしかも避

間容によれば過去四日間支那軍者

文字通り超牙にかけぬ能度を持續し來つたが、要はなったいであた事質に最か今次事變においても解析が関連に関するが、対象にあいても

き角管が10が中域100を振め観御学館町模様を粉碎した事質あり、に消寒してゐたが十六日夕刺突如支那同間艦から疎射されたと覺し

が 度決意を堅持、これが歌を駆することとなった、在長 と、 那川軍がこの際特に自重的行動に出でさる限 り帝國海軍は適常の機會を捉へ勘乎これに膺 が 度決意を堅持、これら弱い歌のが何時 を記し 如何なる無軌道の行動に出づるや測られず支 が 要決意を堅持、これら弱小歌隊が何時 な 那川軍がこの際特に自重的行動に出でさる限 が の下頭を加へ全面的打撃を與ふべしさの態 を記し 女那空軍が 一般間員爆撃の暴擧を敢へてした

BLWら比較を守りらが終期間にの最終に移れて九次、東部指的五 て上海十八月間四十五年級の支那第一会び第二線隊は今次年歌に 支那空軍が、戦闘員爆撃の暴撃を敢

安協成る

工部局官員とわが国数の間の交

**空隊の敵師地及び航空根據地に對す:爆撃並に我が陸職隊及び艦船よりの猛烈集敢なる区** 

地鐵館事館別的原治材三千人分を十八日上海結留民政治の月的でな

米の態度極めて慎重

スチムソン系のホ博士を突如罷免

速に事態の不斷を希望

側は目下階級材料模成に不足して

一般のために職能の街と化した上一段を我が大使命に張し昨

思想信間 | 支那名道の順迷へも | 右の理解言のため危険を関して辞

る十六日夜より十七日までの間舎赴の左頭舶は支那側の路め去っつ、浦里河畔に緊盗せる日遠汽輪

醫療器材を急送

. 軍省副官談十八日午後九時半發表—上海方面に於て連日に亘る我が海軍航

一海の制空確保選覧

により支那軍に興へたる損害は甚大なるものゝ如く、本日(十八日)上海の上空は我が航

部隊の獨壇場であった、敵は新に部隊が増援した模様である

增援安田部隊到着

俗びながら悠々八時三十分歸還した

下を敢行完固なきまでに飛行場格納庫を粉碎、成果を收めて敵の高射砲、機關銃の反撃を飛行場を月明を利して爆撃を開始、上海の空を脅かす敵の根據地に對し壯烈極まる爆彈投 【上海十八日同盟至急報】午後七時半我○○航空隊の飛行機は見事な○○機編隊を以て虹橋

わが飛行隊壯烈な活躍

(教者は研究外に残し比較的に依者) 監算大に上つた政様である (教者は研究外に残し比較的に依者) 監算大に上つた政様である

のみを敷料しをれる所より見れば

通橋の敵軍飛行場を

水砂糖御下

## 陸軍大臣謹話

で、文息大局降下より北支車勢以来の出卵耐 で、東京はりましたとは誠と遊離城域に低、ませ 乗や組はりましたとは誠と遊離城域に低、ませ 大に関し多大の御僧を組はい、見つ医門で囲言 東に関し多大の御僧を組はい、現の医門で囲言 が組ばいましたとは、一般で変勢以来の出卵耐 し、よいよ遊出戦国の滅を及すと信じます

近く離園〇〇〇日附に配任の害酒の上海地で輩仕した歌多学將は

民衆の不満高まる

蔣介石、兵變防止に躍

別志官成備官少將は十八日午前人【上海十八日同盟】 新支那大使館

畏し 皇太后、皇后兩陛下の御仁慈

大陸既に協つた、時を移立す文部」が果てさするドラー・こと表現に電く現が「東して見舞を述べ情報を除へ現が「かり気度に用えー!」 **入制り市内は火命に平廊に隠した。穏ずべきことを申出でる隠風を好。氏は中立地の総財教を作成してフート、日本首節がさきに同一方式の「てあるいかし別監議順能に使えた耶が雁」大使館の安全なることを東京に電「駐剤イギリス関耶学のイッドンツ」(無路は石中立地帯を設置日支南陸)され間、日本の「上の一大」(「一大」)「「一大」」」「「一大」」** 原少將着任 敗戦の眞相判明し

め果たさず夜に入るや特に館域を一定したと際へられるが十八日デリー通り位記を設置したとしても作品が、「してと際へられるが十八日デリー通り

- ヘラルド紙の最近によれば上海

窓を示した右側圏の好態に對して、我が常局は強く窓謝してゐる 上海租界に 中立地帶設置

日本軍空襲!

大混鼠の廣東市民

係者は日支頭軍が撤退すれば右提案に反駁した點を考慮和界關 不再錄號夕發行

中立地帯内の秩序維持に任ずる 記者圏と語るハル國務長官

地信案は十七日の五日南脇で監戒 一方デリー・テレグラフ試は中立 日設] アメリカ欧 元の第二回時に

僧見において右決定を敷析極果 爲本國より陞 が説好の態度

門界平和施設

京城本町一丁目入口 量里 坂 井 港 東井 耳鼻咽喉科醫院 聖芸

の純

の聴衆継続に百方済めつつあるも、十七日より真相次第では遂に兵極起って戦新すべからざるに至り南京戦府登局は支制軍では遂に兵極起って戦新すべからざるに至り南京戦府登局は支制軍 

**撃**次第に高く、政府内部にも不滿の聲おこに漏洩し國民は支那空軍信ずるに足らずとの緊

の監察に身があつっあるも、十七日より真相次

將介石は兵變防止の爲今や論難斷壓に躍起と

一と客へ明確な回答

**支那軍、黃浦江封鎖** 

を沈没

なってゐる(宮属は所介包)

相通体地方法是更多。 (原城地方法是原外,他们是 被事)不能被事 (越来)用。 并原 場門 地交換棒事 本府辭 令(財)

瞬川雅俊

際氏導ぶまいことか、「これで **全文字通り除指緯々たるもの** 就長の許に〇〇部朝鮮生館の離れ電 中便りが飛たが、 隊長から長文の印 もので、それ とが人にいない。 せびらか



領袖一觸唇磨死、敗末に一齢を賦して曰く 風敵遊泳定、頭天開死、敗兵死散八 てゐる♠♡

二、陶観二〇、水雷艇三四、その他巡辺神道監若干【内部】巡洋艦ル、假巡洋艦一、砲艦三一、河砲艦【内部】巡洋艦ル、銀巡洋艦一、砲艦三一、河砲艦 那海軍の現有勢力脈に構成は左の如くである

と強つてもる次第である日々事態の推移を注視し考慮を ると考へる が伴はれ且つ長時 における事態の推 でではれまかでメリ を避けた、最 メリカ政府の

通べたのみで係り多くを誰しな

「極めて「慎重を加へるものと豫想される、一方質な感の一部には然上毒事あったので、交迭の結果今後の米國政府の極東政策は實際に即してあったので、交迭の結果今後の米國政府の極東政策は實際に即してあったので、多元にステムソン主義を輩する同志主を第一級から引きせしめる監修

ンベクク脚士の部長突襲の理由はルーズヴェルト、ヘルの海巓平和蟷螂の種果における強行を道ホーンベクク脚士を十七日突到修覧し、ウシントン外突索に観から真医譚を惹起してゐるが、ホー

「ワシントン十七日数本社特置」末域政府は多年域が省段思節長として

ルーズヴェルト大統領は次の理由を以て断乎所信に邁進する決敗上来の環題なる図目監算版あり、既在に對し日本の行動を即時序止せしめよと顕成してあるが

以ではない、また支那空軍が無差別的に上海爆撃を行つたのは別國ることは米國の中立方針と青駆する、また中立法の穀跡は日本にのみ利益。真に中立を除っ所即も日本の行助押制は各國と共同したければ何等の成果を利待し難い、ところで各國と共同す

の干渉を招かんミする意圖に出でたものであり、

意だど解されてゐる

雅胜 今百

自重せずば斷乎膺懲の巨彈

と本営年の上形器個の風恨七

3治事)威夜衛電響學校、廣東省北訪2、南京海訪255歳、海道训售局、軍中央企事所國第一體縣(沿岸艦隊) 河砲艦一五、驅逐艦

まんである「原属は〇〇前端と」

至急お求めをル

特號 脚気の新療法 本號五十銭〈東京九段命女界八十十銭〈東京九段命女界八十銭〈東京九段命の東上は、東京九段命の東京、日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東東の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東東の東東の東京・日本の東京・日本の東東の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日東の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東の東の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日東の東京・日東の東京・日本の東京・日東の東京・日本の東京・日東の東京・日東・日本の東京・日東の東東の東京・日東の東京・日東の東京・日東の東東の東の東京・日本の東の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日本の東京・日 自の美なる秘法 男女児を生法 解消する 座談會 大場間の煩悶を 大場間の煩悶を えかいれた実話 大婦愛に迎り 不具見を育て、一人見を育て、一人見を変して、一人の一人を選挙が、一人をである。 輯特變事支北 血液型の差別による相性 ◇番月司令官夫人との一同一答
◇大学に後の「一日日本・「学生の世界では、日本・「学生の問題」 受我子! **和人の讃となつた女性の歯目** 

粉を命す(二)等)

說

狂暴なる敵を前に

平然たる神洲男兒⑶

何處から何度之も一十

第 文 海道金川郡西泉面市邊 

累計金五萬二千二 日計金七百九圓也

十六圓五十五錢也

朝鮮防空器材献金

上海の簡単化と、列國居民民への一般中の海路を継続し伊ないがためて一大派により日本を即配する以外、一世 御を期してこの緊張に出でたもの 相違ない。併しながら、列國は

一盤せんと質像これ歌めてある。

して逆に、列國の同情を失い、 整形と硬した。即ち支那は日 重となったわけで、正

服を殴する 原郷

はこれが貧に建つてある。東洋に )第一日標である、西班牙の響 nらずる機器を機合から、世界) b認単し、機能すればその最終。

大地が振り葉形蔵さへある。列國 中国共産党及び人民戦線近は群 小軍・使戦して居るに相違ない 安全と寄せかす事に列國5

**楊積殖產局長** 

申請の別とは報手四月末

の設備を属さんとする東田に歴之は完新整岩機又は距前整岩機

なりぬの同時

産金を得るが爲明鮮金鞭薬の現産か一層急速に成るべく多量のでありますが、右の如き情勢に

のでありまして、之が目的遠域のでありまして、之が目的遠域をはない。 大郎 はばたらぬのであります、 就質の個質を起すした産童は、 本月十 日目報を見て公布せらればく 風行をはらぬのこと、存じればたりない。

ルンの衝中に陥り、

この西瓜すら危険に 皆に親に一名を組つた

城明任町由根やミ▲二町宛▲韓十四井イシ▲長谷川町初田砂子▲京 甘語

| **十五個** (上海陰戰餘敗間定)

十五圓(上海壁形隙間主)

京城府旭町二の六○ 井上文代

十二圓

とするやうな射難をつまけてゆく

加里で推断した形態がある。容疑・土はに化けた散発表が西瓜に消酸 雅んで00なとい金長七に西瓜を

**英語となし禍中に推込まる」事を** 

架であらうと型生であららと先づ

近けぬ事すらある

死の直順た」と述った水に

で食を喫る暇もない勇士達は『ま 水である、たが、銃火燃いる暗温 士を踏ますのは北支の水不足と悪 殺人的な災害下に武功を示す状態

敵と見ねばならね――戦場の談別

慰

ものなら地域で強以上に成土逐を一百圓(京城不町を伽松寺内本門 二百圓 由河三成羰菜所從菜以一同 種 平安北道艦城郡湖西

**国、本門佛立諸京城支記婦人會** ▲本町五丁月岡野徳子▲五明宛

くないが、土度を要ふ便衣除の酒。 兵物四萬の大軍がひた! 上海!据兵の観察ならば總理するには軽。借つて真鬼の側部を衝かんとし、運螂のならぬ隣に破線である、正二草くも察哈爾を大汗回し長束線に運螂のならぬ隣に戦線である、正二草くも察哈爾を大汗回し長束線に に見え | は女は開業なのだ、優定から境別 | は臓弾を抱いて生活。てあるぞう て確プして見せる」と家語して、 河へ大部隊の集結を急いである中| 祭も何時態節の本性を現すから知 ベタノーと貼られた状

たやうな陥つきの取

評▲五頭兔▲淺野たか子▲大島|三百四十五圓三十銭

職場で曾ふ顧園の凡ての人間は民一かつたこれ迄の影闘の敵の問題で一能はざる意ごで語ち! たとはいふものの。平震線に高つ「やがて身を切らやうな底懸が迫つ」の戦爆兵は一たまりもなく道池し「である、水騰戦い北支の大平聴け メムノ 一頭も単窓で使にれてるる へた酸圏の目後に郵配筆品に

塔昆金

八月十八日(群)

本町五吉永ノブ▲本町五岡野東澤▲一開苑▲本町五蜂百イツ▲ 宇宙

長谷川町初田

京ん

本沈宝

| かんCC対でいる。 中野 | 中野 | 中野 | 中野 |

孫致東、羅汝昌、曹経瓊 資海道金川郡口耳面松 新月

京城府則治町一の五道林/粤次郎京城府則治町一の六〇山本舎八▲ 明治町二の六九一野山町一の六〇山本舎八▲ 明治町二の六九十野県・原城府 明治町二の六九十野県・原城府 明治町一の六〇山本舎八▲

十二圓八十錢

近海道金川郡金川面 金

日計金 五百八十九圓 累計金 二萬七千百四

十二圓二十五錢也

がちな夏にあの油を、

でせう。あのベット

りした臭い油。さなくとも食慾の衰へめる」など、云ひますと昔の人は驚く

し肝油も時代と共に一變致しました。

毎日多量に服用することは思ひもよ

生臭い油にあるのでなく質はその中に微量 タミンAとDとであることが知ったこと。

夏も肝油が樂に服

合ぞハ

の必要

總計 金七萬九千百六 八圓八十錢也

鶴松寺佛立教

いかなる真夏

でも樂々と連用することが出来ます。 嚴重に檢定され、每粒均等に含有して思考。とは にあることADの含量は最も進步した科 豆大の甘い小粒で一日僅かに三四個の

肝油を最も必要とするのは抵抗力の最も衰へ

店

五 鈴木彬公、木村太郎、鈴木 高額一男、樋口

抵抗力の

なへる夏

夏も休まず! に含まれてをるヴィ 3 この高級肝油を、消化のよくないゼラチン製のカブセルなどに 2 従來の油量の多い鱈の肝油より敷十倍から敷百倍といふ濃厚さ あり、 學的の装置によって 粒肝油ハリバは小 がちな夏です。折角のこの好季に服用をつずけて下さい……特に虚 服用で足り、そのヴ せる一粒肝油(專賣特許)の製法が發見されたこと………です。 それは らぬことでした。然 弱體質の兒童、姙娠又け 一肝油が効くのはあの 入れずに、油塊のまゝて、お腹の中ですぐ溶ける糖衣の小粒と



作用があり、身體全體の機能を活験にするのが特長であります

食煙作用を旺盛にする

化も便通もよくなり、緊急も弱つて、體力、抵抗力増進し、速露はねばならない方々は、この薬の連用によって食慾進み、消 から、病床にあつて身體の衰弱の恢復し自然治療力の發露を

かに治癒に向ふやうになります。

食慾を進め、栄養を引め 體力抵抗力を増强する

## 酵素 との 結核や、肋膜炎、腹膜炎のやう ビタミン総合の 新微

**饗を売めて、自ら病気を治癒に導く醫學上で「自然治癒力」と** 後、或は外科手術後の恢復期などに最も大切なことは身體の築 勝チフスやが駒の如き重柄の像 な經過の長い病氣はもとより、 病になり易い 夏は過労から め、すべての器官の観きが弱つ 夏は暑さのために胃臓をはじ

夏を過す方へ

最も力强いあなたの補助者として言わかもとがあります。の器官の力を強くしておくに魅すことはありません。それには それて過夢を防ぐには飲食物や運動を控え目にして、身體の くなるといふ事が聞々あるのもそれであります。 器官に無理をせぬ事が肝要ですが、それは消極的の方法で、 ても、登山や海水浴の程度が過ぎて、秋になつて肺や肋膜が惡 腹こはしも、 ないことが、無理となり、過勢となるのです。飲食物から起る この勢は、 前殿にも申しましたやうに、 顔々なる勝案、荣養素 ろそれよりは進んで多少の無理も無理とならぬやうに、身體 弱つてゐる胃腸に對する過勞と見るべく、運動 てみます。他の時候では無理で

(河产物便理由产量)

貴方の藤獅栗としての役目を果すのが瞬わかもとであります。 病床にある方々の恢復を遅延させますが、これに對して忠實を

B類合體の最も強力なのを始め、消化作用の量いでエラーゼ、チパーゼ 體能や榮養上に近來ます! - 慶汎な重要性を 認められて 米たビタミン 更に別種の育用微生物を併せた他に類のない綜合生物製物で、胃経の この薬は葉用黴生物として最も効果のすぐれた特殊のヘーフェ歯ご

スチン、其他種々なる酵素、栄養素、ビタミン類を含み、特に リプチン其他の群案や、體力融たるグリコーゲン、神経祭婆共たる

白血球を増殖して病原菌の

いふ力を旺盛にすることです。酷暑はこの力の發揮を妨げて、

と等を結合した微生物製剤であって、 **贈力の補充、疲勞恢復には** 

## 最も必要なビタミンBが

には、持つて来いの薬であり、これを常用することによつて、 酷暑季 から、身體のすべての器官を満力溢れしめて過労に陥らぬやうにする 質膓 の 微 能 を強め、消化、便通を正しくする効果も兼ね備へてわます の顔泉として肝臓に貯蔵せられる物質たるグリコーテンも多量にあり 極めて豊富で、その量は優に脚氣専門繋にも劣らぬ程であり、夏に體力 もも病氣に衢らぬやう身體を快速に保つことが出來ます。

## 醫學から見た

き人、城里、鹿里、松草、野部中の動人等であり 意を思ってはなりません。 が、これには上の経験とありまでから、世 まろ水流を踏ねばならない人は、経済、御外胃脈

やうなことがありますから往間を要します。帰わ が厳愛むすみに高たい影響や集物等を食べたりすり、変に強いだり、要勢してゐる底に違いだり、 既くばかりでなく、 水路でお腹を高したり、 かもとを常用して思りますと、胃臓を尿酸して、 耳炎で暴肌答見を起して、 激な体ぎ方をしたりすると、段間が變調を起すこ とがあります。また耳や鼻に水を入れますと、 飲めて続く時にはあまり長く続いだり、傷かに急 ることは鑑ねばなりません。 長く苦しまればならぬ

水泳の心得



の内地人で側の松の技に風呂敷包と都をしめ、身長五尺二、三寸位

民居任、財道的議員金漢が氏を中「養殖院氏の結議に解かされた有法」も恵よ見徳低への第一步を第今出した……黄海道一の藍牌だは消費。相等経験とされてゐた度納行財事「像、※に存現久しき高帯影響師整教育総を物態の保護の母親が規跡。應に乗り上げ目低の後足術達には「潛校談話に職し金融管経験方を体験音響を物態の保護の母親が規跡。應に乗り上げ目低の後足術達には「潛校談話に職し金融管経験方を体験音響を関係している。

と下駄をかけ、死役十数時間を經

四五歳、頭髪は五分刈り、ひげも きれいに朝り経路の軍衣に黒のへ

實地樹間を行つたが経死者は二十 牛耶夫が延起、緊急影響地部長が松林に緩死難があるのを連行中の

から域内西門に通ずる消路の南側

|水原]||十七日午前八時頃水照際

忽ち五十萬圓

大口二十萬圓を筆頭の寄附金

經營中公立に變更

身元は不明

水原に縊死體

安岳高普の基金

側五十段を國防費の一部として十一一日労働に從事して得た党銀十三 落氏が地震氏外四十五名が申合せ 【平澤】振成制松炭面新潟里の部

品非里野食乳花所を通じて飲

インチキ商人の

なんと多いこと

第一種度量衡檢査の結果は

かくて帰緯やこまもミーコニー 「対でまート・・ は金には郷し 【永岡】北文年勉勃徳以来郡民のかくて帰緯を載せられて一行中に 【行が去つたあとの戦会には郷し 【永岡】北文年勉勃徳以来郡民のかくて帰緯を載せられて一行中に 【行が去つたあとの戦会には郷し 【永岡】北文年勉勃徳以来郡民の 

して献金 一村民勞働

一百の新府民 激増した

田口羅津府尹と小澤所長が 驛頭に感激の挨拶

われく、はいよく、本日から脳 一同を大いに懸滅させた 水原の献金 三千四近し

断長以下二百名の計説が大野解律

人りをした、この日 聯ホームに

伊移時は歴史の通り去る十五日午

小海路世事務所長は全計器を代表。それが、絵間金として姿能、翻録

一行は施川線まで列車で乗り込み 翌日は解散、鈴布は生吉加趾に参

既信まつた順迎の群を述べると | 採車荷所移帳を奉告した 解散に西班領労力されんこ

**良堂車廢止** 

驛辨大繁昌

し着々進捗を見てあるが戯に入札にけられ低にその過半部を入札に附過化と昨今の丁事季節に掛車をか

【稲南】巻大二百餘萬圓の本年度

時局ダイヤ質施で

元鐵も轉手古舞い

つた消騒前機道路等二大工事に対

温泉橋をはじめ既に去る十四日入 私不調のため日本舗道と脳界とな

本春以來 陰貴はが落れした道路の工事立刻に置かてはの本子の大学を持たしてまた。 一世十名八千田では、大道路関係の工事立刻に置かてはの本一両、五千田でこれとではの本一両、五千田でこと、名でまだん。 工場和ない。 「長親については勿論元分差値して長れてあるものとは思ふか差面で成いて他和報応に関いるの基面で成いて他和報応に関いるのを制力を強している方がでれば相談に通りまるもうがでれば相談に通りまるもうがでれば相談に通りまるもうがでれば相談に通りませば、またこのでは、また。またこのでは、またこのでは、またこのでは、またこのでは、またこのでは、また。また。また。またこのでは、またこのでは、またこのでは、またこのでは、またこのでは、またこのでは、またこのでは、またこのでは、またこのでは、またこのでは、また。またこのでは、またこのでは、またこのでは、また。このでは、またこのでは、また。このでは、またこのでは、また。このでは、また。このでは、また。このでは、また。このでは、また。このでは、また。このでは、また。このでは、また。このでは、また。このでは、また。このでは、また。このでは、また。このでは、また。このでは、また。このでは、また。このでは、また。このでは、また。このでは、また。このでは、また。また。このでは、また。このでは、また。また。このでは、また。このでは、また。また。また。また

外 來 業者 の欠陥を指摘す めに協力のを希て止まない。 ることにさし姓へるが現る内地 が深の大資本族に比して通色は [永岡] 沃川郡では去る上四日か あるが試小蔵堂は許を知し物碑 ら一週間沃川公理校で収良計算報 的にこれをカバーしてある、今 [ 面講習會を開闢

仁川愛婦に捫着

林に對し時局認識を强化せーむべ

一覧長宋始週氏に十五日から郡内

を派回し時局 講演を行つた

打聯盟會議 再卷版图 釜山車事後 【釜山車

関防費として五十國を献金した

て入見ると各測候所の報告は九二三度以上の高温を示してある。こで専門の道温粉譜に同ひを立。三度以上の高温を示してある。

科學漁撈陣萬歲

一般金を雰囲することになった、つて江湖の有志に派へ水電数層

年北道地方脈内朝鮮社会

益々機能發揮する

鰮漁群の偵察機

突如解囑された田中女史

告訴沙汰まで起る

版である、加ふるに出題り活躍で る元線も安保輸送の級和に関む現 とも認も裏切れとなり、馬芋に配

鳴をあげてをり遊路方面も沿岸遊戯し、元山土無罪は松料不足で那

鯨と判つてワッと大喚聲

漁師三人も傷つく

oDの二名は打撲脳を買って人事不省となった

小部落門船を除けば一般に開

川青訓生 街頭で活躍

で画項魚響の世界の大路網を引達けてみると網 この怪物こそは遊かに独合に、それに難りの中に巨大な怪物がうごめいてゐるので迦師 三間能もある戯で、それに難りになるがあるがりまりを打ち込みがある。

模盤があがりモリを打ち込み捕艇したがこの三間除もある戯で、それと戦つて流には一大 ため日正は見動人で黒山を築いた

栗林科の輸送も休止して各瞬に四 あつたセメント、鰕材、木枕等建 日間に原設しないと特勢に手に入|日間壁に百五十二国二十五嶷を海軍へ|りであるらす、郷郷も食物派の駅上で各郷|軍へ百五十二国二十五嶷を海軍へ|りである

【仁川】 世際年間に取り堂園幣人「働き來る廿五日から四日間に取り登几川分館のため献を辞してある本町」取する面敷設に関して實施、際家とはまる十二一既生記録と愛聞別級の野及を聞る日間で突加本町分以良の腹を解機、野日間で突加本町分以良の腹を解機、野日間で突加本町分以良の腹を解機、野

の二項を幽聴した

人家族慰問戰憲死者用問方法

通り担富の好成績を観め昨今では「電池大雅の私設無電局職にサルム」「清津」魚群低差機の活躍は重期」上有認識される歪った、殊にこの

九十八七旗劇

**愛史上に読る科學漁街法はいよい り漁運庫は一層単位、昨今清津神**らる熟練するに至つたのでこの漁 | 來迎僧商によつた通信も無能に代

されたが全く前例のないことであ る、表面の理由は低期弱い、こ年

心中未遂男

変員を設けて

**久源をあげてゐる** コンのため各情若能とも粗意の

(元山) 局総線度メイヤ関連によ | 徳一周は四日市に建って保険能数 | する工事登場の中では第二後期代の登録機関に伴いまた、成館、東 | に拠旧し赤小園に直行動かに動金 | 発表体存標度の中では第二後期代を対しまた。 (元山) 局総線度に伴いまた、成館、東 | に拠旧し赤小園に直行動かに動金 | らずも土木種栗畑郷を中心に助元の設成機関に伴いまた、成館、東 | に拠旧し赤小園に直行動かに動金 | らずも土木種栗畑郷を中心に助元の対域を開発が面

便をしのんで頂き今後ますく は野歌を述べこの雨三頭の際即低 素知の通り翻放途上の都市であ と誤解を述べこの雨三頭の際即低 なった競響の不使もあるが周環 挨拶交換によつて待窓の形即低 と誤解を述べこの雨三頭の際即低 を しゅう こうたまで渡して はいまかく しょうしょう しゅうしゅう しゅうしゅう

を出理へた、一同が列車の止まる を持つてホームに降り立つや田口 民約五百名が時列して一行

地元の業者を救へ

一大工事から閉め出され

成北の土建業者道に恨み言

る場合は多大の犠牲を排つて る|

めに協力つを希て止まない
善要を察せられて業者確認のた

【鑑律】落線北鮮線道事務所の疑

人家疾敵国金として五頭を願出、元氏の時局誹語を纏いて感激し氧統工場の女工三十條名は工場主宮統工場の女工三十條名は工場主宮 女工さん成っぱ(陰城)

||魏貞来の各航駅||並は十八日歌在殿||ら三日間に重り即職することとなっによると物が観査と手五百五十六 | 「脈瞰道にすることになった【水脈】 ||||7月における北文年総数|||を掘西軍野所で來る二十三日か の場合物金を帰行したがその結果||今波彦道館の設定については 今後匿五面の地面については更に

宿の頸疽を起し、氣を失つてゐる 半年自宅飲番組で数金の軽備中岸女金郎住Coが十六日午前十一時 |陸城||陸城南平行里清景根の歌 家屋も半焼

て徹火したが同女は南手足に大火。畳ない舌にな……耳度全手の壁より、濱原組が出動、同様を半線し、音を概ふ時、暑いなどとは質に勿り、濱原組が出動、同様を半線し、「蕃曹」対熱の北立礁線県軍の勢っちに署表に火がついて火事とな 盟ない話だが……事實今年の要は **暑い、連目うだるやうな旱天にさ** 

るもいとされ、経維的に単年より | 雌龍領郡高線管作北支部ではこれ 金ピケヤ ③御おれる い無色 強まります

く御貯蔵出來後で御使用になれます 25 26 40 1 億しております。 2.00 2.00 生際を御染めになる時の様に極く少量物使用になつた殊りも水は大からおそ

| 大大田歌は「神子など、「水原」十三日京城南年町歌殿」 | 「水原」十三日京城南年町歌殿」 | 「東北の水田東京の北京、大水 | 「中町町山下海、大水 | 「中町町山下海、大水 | 「中町町山下海、大水 | 「中町町山下海、大水 | 「中町山下海、大水 | 「中町 | 「山下海、大水 | 「中町 | 「山下 | 「東京 | 「東京 | 「山下 | 「東京 

事務用、學生用に 気持よくかける すらすらと この優良品を **元置證録年高ンウラク** 店商井湿熊跃

田は下野な歌館が多数別路しら面 に動物、悪声をの他についての職 【表刊】忠北英帝生意局では二十り、那から歌歌すを初め美内第主 闘機者は十八日午前九時好能総製 \ 氣間直復後的注射 七日から九月八日まで題川郡内八一決定

からは模範供記一名乃至三名づら

愛鼬龍葉防衛射を買施することに、ハてある、この現象は至く藉着のケ頭二十八ケ単門散牛二十七頭に、れ、それだけでも日に散賞見を敷

へてゐる、この現象は至く藉有の一部知事施に大野内被部長も新任以 あるが右につき近の脚谷水産技師 | 谷遇敗者をはかり悪に異帝則後に とで海流の好韻によるものと見一來、官吏の獨記職上に聞し個を討

る 化を期すると同時に引務の正統武に一大闘争を加へ、電底的に明明に一大闘争を加へ、電底的に明明のに、

今年は通塩が関投した、大橋海 (次)では、大橋 (で)では、大漁を得てあるものと見られる (か)では、大漁を得てあるものと見られる (か)では、大漁を得てよってこの空間の (で)で いに期待されるわけだ。一般作にたつてある。秋漁期も大概が寄るもので選北はいまその 遺職防止 題に出する共衆的方法を収決の 建を主張とする方針で、緊張自由 の源果となる事務の停酒と緊陥

慶南の對策 脚から同地向政府で問局器回見

染毛赤毛白

新券番設置

夏師大漁 過去敷年の 料理店を中心に 大邱に運動が起る

不漁帳消し

华壽 煙

チューブン

## 刀年目の階署來

さしもの北鮮地方も灼熱地獄

元山は卅四度 「本のの一人」である。 たが農作物はO·K

作り熟語で溶く機な古い面倒な危險な操作をしなくても直ちに染きれる。 こうこう ないたうきだん うきゅうしょ ハイラー とうかい たまります かった かんこう きんん うきゅうしょ ないしょうかく だん かんこう とうから アイル かっかっし かから かんこう かんしゃ かんじん かんじん はんだん はんだん アイル・カー・カー・アイル かんしゃ かんしゃ かんじん

誇るべき特徴◆

終りになるまで櫛通りが買いので非常に心地良く其の上天然の美しおは、(いきゅ)と、

他品の所 有せる特 最は勿論筆紙には書きわらはせない心地の良いたらん しょじう とくじょう きゅうんかっしょ

朝鲜代理店 製造發宣元 中 新 朝鮮京城府南大門通り 名古 島市 東區京町 井 薬 房

見本進呈

申込をふ

**催和火** 

一、重宝な 皆樣特望力… 白老赤老游 各薬店にて販賣

◆北支城線○○部 除奪戦の跡向つて 米の陣地を占領の 梁畑に憩か皇軍 蜿蜒大洋の如き高 へる日章旗【右下】 我軍 右中」最前線 【右上】商苑敵世百 100の縣城に飜 覧する設定な生活を関しめば迅速に治療に削ってきこと論を保たない 連用しなから説明の如う都生はを確認し、無理に心歌を放映

全國各地薬店デバートにあり品切 六日八菱六〇 WR十一面、二十回 學太三十錢,鮮而南洋四十五錢 「光信」 - カニを二曜日の八巻四暦 送料市內六銭、內地十錢、要薦 河合连行(振香東京四六一八 既、肩のコリ、腰痛等。

用されて居ります。 初期禿頭を好轉せしめる 烈しいフケ、抜け毛を止め、

强壯精分を樂々と吸收させて ・

清浄且殺菌された毛根から、新研究の毛髪

毛生力を促進して、

影療的性能を賞

(定復)小一圓二0銭・大二圓・復用五圓

◆批判力の鋭い路家、並に其第家庭も、ヨウモトニックだけは近んで

典

肥りすぎの人、痩せてゐても

中風や卒中の系統を引く人 硬化を想はせる筋張つた人・一見して動脈 所重年鳴り息ぎれ肩こりなど オル)で躰を摩擦するだけで 左朝の靜歩である。冷やかな際の冷水浴とそしてゆるやか めしたいのは早春早起と、早の持病に儲む方々へ先っお疑 絞つた手織(或ひは乾いたタ水を浴びるのが嫌な人は水で

動脈硬化症患者と

ある

父子相傳とは限らない! げは

の食後を三四十分静かに腰目横臥するのも良

も非常に健康上有効だが、無

開始を極力 て

となる誘因した Ø

が 素質をもつい 素質をもつい 悉っつ 髪を人

·生物學的泛毛科

◇洗髮の過多により、過度の脱脂をせぬ事

◇間い帽子で長期に重点

頭皮毛髮を、影迫·

密封·避光世故事

等を、禿髪防止の飛神と致します。

正しい養毛料は

近畿明され、益々治療県の質素を築めて見るが、本種を

することで酒煙車刺動物等の過用、過度な物力を浪

センナエモデン、マグネシア、ヘスペリデン等を集成した義語で、特

・ 地震自和機能勝を緊張する意味をコード、徹底プローム整線をしたなかにし即後が指を託り施取を使取にさせて

に細小師客の密戦を収め、前の偏在保護を指言する作用あることを最

でみつしり手當しなければならね。「海豊家」は人間の

え意風が月前に辿ってるる高能階患者は『微度歌』のような悪性良妙

既に加壓亢進がはるかに常軌を減

は、開湾印中風の扱れある振聞も 通はからず一日一回上記するの 次会を主として影響 食餌は新鮮な

いようにして

帽子を取れば、青春が逃げる

健康の道 (器)

者はヘガキに新聞名及住所氏名用記してお申越下さい

要注血中温高血器剪数

代送呈

競賣元 ○三共紀四)春 昌 製 薬 東京・全町 三共ビル 栨 式

龠

飛行機で、南発の爆騰が行はれた

カフスボタンを賜ったといふ優秀 一 同郷、卒衆に際して投下から金の 世上四十八期生で三笠宮屋下とは

板井少尉は熊本縣大洲中學出具、一

な青年将校、備整点。小中で鬼少

版で掴る、土曜信題をつくる、弦 Tunnの類

たくてはならりのか壁で大塚少れは、その翌日のことだつた、れば、その翌日のことだった、

|だ、京城明倫則元仁川海事出張所 | 州総管御職長故郷不大佐の綴言で | つた上郷里電見墓に纏り織拾ひを | 今日山雅陶昌富民館から便りがあ

寒戦出身である謎ながらに鰡島氏に撃るれで、素明をイトレー

れで、季明らや人の父さん即出古版。この令妹が院後の夫人。しから感義された竹下氏は京城市を、本明らや人のこと同ちゃんのこの叔父さんが京城に思った。本町三國典皇帝人科技院设がそれを知られた。 低報=通州懐底事件で困戦を失び軍権と恐怖の北支の大平原に放り出された城い二人の兄弟竹

真社の太陽が西方へ双する時、

大葉は十八日野 販売添から届いた はこの位の事でピッともしませた。 「島子はよくやつてくれました はまずはよくやつてくれました はこの位の事でピッともしませた。

殊に健氣な老母堂

物凄い昨殿た、南苑の

をかすめる、シューン~飛飛弾値を命じた、銃姿が耳も分は支那足家の屋根に登つて

三笠宮殿下とは

御同期の鬼將校

阿中に詩をも賦す

通州の孤見の探す

**似父さんがゐた** 

本町の鮫島産婦人科病院長

奇蹟の救出記を語る

〇〇なら〇〇へ炭酸百三十度と戦 ひ配行軍だ、戦機到るか腕を撫し

股投兵が要求したのだ、まづ優 大総対防は正面の機能認識がけ 関手が照死した、汽車は虚立動 て事権期を投げ込みさま血のした かなくなった、河ボウシばかり たる軍力を振りかざしく 突入し してある軍用自動するが可しよ。た、あ、その時機能が現に一番に してある軍用自動するが可しよ。た、あ、その時機能が現に一番に と死もの狂ひだ、青龍刀を展 「限とそ、がれた 大変が防め取るは使りなどしく。 大変が防め取るは使りなどしく。 大変が防め取るは使り乗だ、悲

鬼神も哭かん

今や北支に正義の旗

# 板井少尉名譽の重傷

薫る。○○兵。の名譽を偲ぶ

無機動を割から左傾へ受けて倒れた、各撃の重傷は、20長々の歴史に不認の光を投げかけ、野戦危険に重倒のが最近高で腹道に退脱が駆撃に白血ニ子四の概年歌人概井文也が居住戦陣に等人、反東の爬路を開き城南高く将に日常跡が飜へららとした時、あり!の○兵々撃機つひに至り離宮域の離脱に蜀子散戦、またもや北文出処義非賦一の罪名規設を永久に即かして威夷北文を隠するとき、原州郡總に歌勲誌々。○○兵々の歌名を轟かし陳代司建設の民間史に干古不朽の崩離を殺し、北文に一度び東火飛べば映び起つたこの原州郡總に歌勲誌々。○○兵々の歌名を轟かし陳代司建設の民間史に干古不朽の崩離を殺し、北文に一度び東火飛べば映び起つたこの原州郡總

つ日を持つてある。以下戦祸間の校井地が財の戦時の陣由半紀(戦夷は板井部隊長)無守戦闘を割から左戦(受けて倒れた、名響の軍隊は、〇〇兵々の歴史に不滅の光を

かいつて皆さまから一動づつ経の規長女輝子や兄の繋が一夜中

悽愴壯烈なる陣中記

公開講演 野上、淡路兩氏

全國の帝大を始め各基立大學、際 人法文學部に華々しく開かれる第

と航空開発所技師文學原士院路回特に京大戦後文學原士野上度大氏 問各版域の研究酸表を配行するこ 側域大心理學館の萬端の準備も

◇賞金 一等卅圓 二人

一等廿圓 三人

三等十圓 (五人)

八月末日

及び『職業指導に騙して』の意思

昭和十二年八月

\*難で 陸戦隊へ慰問金

と、 と化した上海で三萬の開観の生命と本数勝姓の賢和を見せて十五回。 数り、緩縮百四十三国六銭を十八 弾みしい至中職の残削で照确の選(と本数勝姓の賢和を見せて十五回。数り、緩縮百四十三国六銭を十八 兵の渡ぐましい預能振りに敗敬し 人名森斯蘭即屬都提出等談下す 本社へ問題金を答記した二人の

軍慰問金として献納方の手数きを

古金物も〇代其の他、ボロ布什七

〇四百、古本、古雜誌二〇一四、

を行ふ事になった、なは集まった

に感謝し更に第二回の歌歌金賦納 つて激励したので、青年遠は非常 夫人も多数の空瓶其他不用品を含 を習過、三語整符、問義施証兩局長

十八日京城大奥町五七六金城莒氏

献金行進曲

戰死傷者 開口に於ける

治▲輸車災一野兵國本良▲帰軍市村正人▲同為村壤▲同志尚属市村正人▲同為村壤▲同志尚属

に對し銀代官邸では六百本の字語

門である

野妓がある、京城他町二大黒の音

東つて簡単をうるばかりと思って、海軍の陸艉隊の苦心を初めて 『上海の陸艉隊の苦心を初めて 彩さんではと他町一花桝の文頭さ

つてある上海の水兵さんの原間、さん・和虔が荒郊さん」命をかけて在留那人の保護に當っことになった(宮殿は途命をかけて在留那人の保護に當っことになった(宮殿は途

空瓶などを賣り 皇軍慰問に献金 日之出町青年團本社へ

|申合により機次管側形で電線を観||あつたが、町内右・4名||5両し||に関水線部が影响をあげてしまのに破疫目を旧間帯手閣では膨线の||を専軍戦闘に献めず:く高術中で||屋も、車務器も、氷だくへの選呼 のない猛暑に買けた家庭も、料理レードだが、それもそのはず期間 氷屋の朝には困つた顔々のオンバ 質、冷寒庫の氷を求めて同じく田・氷屋に走つた窓遊覧さんの困つた た顔の内能さん造、最近京城の

氷を買 に處される

**衛人の氷霞の氷がなくなつて隣の一くなつたからなのである。これを一やらだ。こんな思徳小致人は見付** サヤンスに小質師の中にはストッ け次第整髪に申告すれば嚴難に良 クを買り踏みしてゐるものがある。するはず 見付けたら警察へ

製水會社汗ダク **氷飢饉に大狼狽** 

各自不再品を持谷の配置後金、豫定以上の孤に遂し、のて右の内、路要の三分の一しか供給が出來な「近年福な酷暑に何度も彼處も氷な」くてはやり切れぬ、それに北文事 清津や釜山へ相談

ないので、ボーイはこの主人の可 危险も取みず阿鼻叫喚、地歌と 關係業者は一同敗百噸の供給不定

までは却々に廻つて釆

さらです、その役とのボーイは日 本人を載つたといよので取残兵や 一見を抱いて安全取得まで逃れた した通州版品の死線を提身突破 虚した末先つ清津より百五十曜を を緩和する一對策として希臘に考



えた実しい人類壁に埋く一支部人 あの見違が致はれたのでせるか、 の ボーイの決死に接護があったから「暴闘不遇の支那にもからした生命」中京 100 010 254

日の韓々決勝は一八日午町十時か

臭語窓000 000 100

部にも集団に怯えてふるさらです 海草 251 110 30A

學決勝組合せ 第七月目

全國中等野球

変数のは腹を着て信用させたとシ田は一郎へる→世段名=で「防 ころは中々頭がいゝでせら』と

中學校に清水十二生さん けふの天気

配をつけてゐたらしいです。何故

半島カメラマン總動員

カタル

ع

土地賣山廣告

京城府東梁町凱輩鄉

心理學會の

## 風景寫眞券集

力づける高本部は此度に左の振想によって顕微の赤蛇に流れ着ちる各心非常時風象を郭郷するとになったの要をカメラに握りこれを第一線青江に置って就後の赤蛇紋れる風蛇の後遊を目の過り野を繋ぎを贈め出り殺空をあくずに握りこれを第一線青江に置めて武後の赤蛇紋れる風蛇の後遊を目の過り野を繋ぎを贈め出れる風に飲食 ◇大きさ キャビネ型 皇軍將士を慰めませう

豊山院事務所

腕病の手當

◇送先 京城日報社事業部(皇軍尉問葛良係)宛 但し入賞者はこれを皇軍財問金に献納せられたきこと

響音器レコード

値

IE

連

大事に當り下記七趾砂質のレコードは物品特別

り八月十八日より左の通り小翼傾突地正住候

合計小翼旗提

朝鮮寫真聯盟京城日報社・毎日申報社

は、日本のでは、日本の 製の勤趣に各方面が活躍な動きを るだけに京城府内の氷の間要も 脱態に陥つてゐるのを嵌入が午 一次、自我を全てたものと執った 助かる関係、原因は管察不振を思 一七一食料雑代面学東方若っとか 町の野市長院に連込み手間の結果 八日朝カルモチンを飲んで青年

8585858586

西翼門景高宝 三三元

英四四三三六二二 西全四公司法司公司公司

おいまれた。

新了ATD 市場

脚上俠

異菌乳他の製品に於て

つかり出掘つて仕舞つて氷倉もカ れに持ち越しのストツクも最早す 円型大角社の生産能力は馬力をか 人つたり行となつたりして密ちに レか内 ントパー ダン科科科 京社

告に眠り特に意図して掲載する。 類特料金は割納の事但配拠版 工・鍵底名は一回毎に五十五路指字十五字路一回五行

淤 豆口等内

ンエバート大和弘管領大
(イ大生後ご)ヶ月設育値秀堂大家分
譲す 京城牧場 田 武 一

+



院長ノ往診ハロ 入院随

地ノ笠 切が埋みたる では、 一年 では、 日本 では、 日本

恩

給音

**范括本局六九一番 江州屋本店** 京城府占計町一丁目九十一番地

と丸めこみ五十段、一国と詐取留守を狙つて既謀連中をまんま 一般に需要が激増して水源地が配く……「この器さで京城の水道は ら弾が附を願ひます」と主人の OSを用すことになりましたか

オ(要部券)京城府本町三ノ九二れ(要部券)京城府本町三ノ九二人母羽九月初詳細は本塾に開資あると開資の

なつて本町製造が採むの結果、 ・無智な與さん述を巧みに釈



的多次

本人力た天使絹綿 御進物で金華饅頭を 

外務社員招聘 一、企業的有無任命等力量的。 一、企業的有無任命等力量的。 一、企業的但一千五歲的上 一、管內各的基本的 一、企業的人。 第一生命保險相互會社」

塌互史指省罗油 政體式採與殺別基

**病最新築** 

丁四町本府 城泉 兀實發顯朔 **警察房巢村木社會**式株



特に一般虚弱 新時代の 學理に基ける 強壯劑 神身の過勞

以(是) 一三 四番 (是) 四一九五番 (是) 四一三番 (是) 四一三番 リエノー 配株式食社

とから、また南が時に、その釈併性質を、飾めてまで それで一段快 本舗·森下仁丹株式 食靴

一のよっと乗む

**數時間もロ中に残る** 仁丹齒磨の滅菌力は

の滅菌性を敷観後の論、歯グ

キ、枯腰、舌の乳頭内、扁仁丹齒磨の滅菌料は歯面の

口中が粘り易い

Control of the second of the s 仁丹歯磨こそ最適品!

**釜川商船** 

(アルミコファ付) 正面(夏川・近〇 正面(夏州・丘〇

**愛愛元 植村製 樂所** 

栗岳デバート警覧部に有り設明書館呈

+

胞の活力を昻進 神經並に身體細 食慾を増進し、

缺落症、病後恢復期

炎、產髒熱、性的减退 **脲病質、肺結核、肋膜** 

然養障碍、神經衰弱

服用容易 美味芳佳

克田 群山 石 水浦六日 · 青島行